

北海道議会時報

昭和60年第3号

第3回定例会
企業会計決算特別委員会(59年度決算)



北海道議会事務局

北海道議会時報第37巻第3号(昭和60年第3回定例会)

(表紙写真説明)

冬こそ北海道

冬の北海道には、雪まつり、流水、白鳥、スキーなど北国ならではのすばらしい冬季観光資源を有し、“冬こそ北海道”である。

写真は、「東洋のサンモリッツ」と称されているニセコ山系の主峰、アンヌプリのスキー場。雄大な景観に加え、パウダースノーが無限に広がる銀世界は、スキーヤーのあこがれのまどである。

(後志観光連盟提供)

第3回定例会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	12
意 見 案	14
請 願・陳 情	18

委員会 の 動 き

議会運営委員会	21
常任委員会	29
特別委員会	37
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
国民体育大会推進特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	49
10都道府県議会議長会	49
北海道・東北6県議会議長会	50

資 料

第3回定例会において議決を経た 条例の公布調	51
---------------------------	----

8・9・10月のメモ

議 会 日 誌

▶ 8 月

- 5 日 (月) エネルギー問題調査特別委員会
 6 日 (火) 各常任、エネルギー問題調査特別、
 国民体育大会推進特別各委員会
 14 日 (水) エネルギー問題調査特別委員会
 19 日 (月) }
 20 日 (火) } 企業会計決算特別委員会
 28 日 (水) }
 29 日 (木) }
 30 日 (金) エネルギー問題調査特別、企業会
 計決算特別各委員会
 31 日 (土) エネルギー問題調査特別委員会

▶ 9 月

- 2 日 (月) エネルギー問題調査特別委員会
 3 日 (火) 各常任、石炭対策特別各委員会
 12 日 (木) }
 17 日 (火) } エネルギー問題調査特別委員会
 18 日 (水) 議会運営、エネルギー問題調査特
 別各委員会
 24 日 (火) 議会運営、各常任、総合開発調査
 特別、北方領土対策特別、国民体
 育大会推進特別各委員会
 25 日 (水) (第 3 回定例会開会)
 議会運営委員会
本会議 (会期決定<24日間>)
 26 日 (木) 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
 27 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (日程延期、休会の決定<1 日
 間>)
 30 日 (月) 議会運営委員会
本会議 (日程延期)

▶ 10 月

- 1 日 (火) 議会運営委員会
本会議 (エネルギー問題調査特別委員
 長報告、前会より継続審査の決議案第
 3 号可決)
 2 日 (水) } 議会運営委員会
 3 日 (木) } **本会議** (日程延期)
 4 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (日程延期、休会の決定<1 日
 間>)
 7 日 (月) 議会運営委員会
本会議 (緊急質問<1 人>)
 8 日 (火) 議会運営、総務各委員会
本会議 (日程延期)
 9 日 (水) } 議会運営委員会
 11 日 (金) } **本会議** (日程延期)
 12 日 (土) 議会運営委員会
本会議 (緊急質問、意見案 2 件可決)
 14 日 (月) }
 15 日 (火) } 議会運営委員会
 16 日 (水) } **本会議** (日程延期)
 17 日 (木) }
 18 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (会期延長<10日間>、緊急質
 問<1 人>)
 19 日 (土) 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
 21 日 (月) 議会運営委員会
本会議 (知事提案説明、前会より継続
 審査中の 59 年度企業会計決算認定、休
 会の決定<1 日間>)
 23 日 (水) 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2 人>)
 24 日 (木) 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2 人>、一般質問
 <3 人>)
 25 日 (金) 議会運営委員会
本会議 (一般質問<3 人>、予算特別
 委員会設置、休会の決定<1 日間>)
 予算特別委員会 (正副委員長の互選、
 予算第 1・第 2 分科会設置)

- 予算第1・第2分科会(正副委員長の互選)
- 26日(土) 予算第1・第2各分科会(各部所管審査)
- 28日(月) 議会運営、各常任、エネルギー問題調査特別各委員会
予算第1・第2分科会(各部所管審査)
予算特別委員会(意見調整)
本会議(各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員、公安委員会委員及び方面公安委員会委員、人事委員会委員、収用委員会委員並びに公害審査会委員会委員の選任同意、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙、意見案2件可決、請願審査)
(第3回定例会閉会)
- 29日(月) 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別各委員会

第3回定例会

景気対策の道単独事業費等総額 172億7,400 万円余の 補正予算可決

▶ 「貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関する決議案」等可決 ◀

概 要

- ① 景気対策等に関する補正予算などを審議する第3回定例会は9月25日に招集され、会期を10月18日まで24日間と決定。翌26日から前会より継続審査中の「貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関する決議案」の取り扱いをめぐる各派間で協議が行われたが意見が一致しないため、日程を延期した。10月1日に至り、漸くエネルギー問題調査特別委員長から、同決議案の審査の経過と結果について報告の後、討論、採決を行い、委員長報告のとおり原案可決と決定した。
- ② 翌2日から、貯蔵工学センターの立地環境調査に関する緊急質問の取り扱いをめぐる各派の意見が一致しないため、審議が中断、7日に、審議が再開され、緊急質問に入ったが、桜井外治議員(自民)の質問に対する知事答弁で審議が中断。12日に審議が再開されたが、同議員の再質問の後、議事の都合により議事を中止し、「昭和60年産畑作物価格等に関する要望意見案」及び「人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見案」を原案のとおり可決した。

10月18日に至り、漸く知事の答弁準備が整い審議が再開され、会期を10月28日まで10日間延長。次いで、小野秀夫議員(道政)から緊急質問を行ったが、知事答弁準備のため、審議が中断。21日に、審議が再開され、知事答弁を行って緊急質問を終結した。

次いで、同日、総額 172 億 7,400 万円余の補正予算等21件の案件について開会以来27日目にして漸く知事から提案説明があった。次に、前会より継続審査中の昭和59年度企業会計決算について、企業会計決算特別委員長から報告の後、討論、採決の結果、認定議決または意見を付し認定議決、議案調査のため10月22日は休会した。
- ③ 翌23日から代表質問に入り、24日に終結。次いで一般質問に入り、25日に終結。直ちに予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、付託議案審査のため、26日は休会した。
- ④ 予算特別委員会は、10月25日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、26日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、28日にこれを終え、各分科委員長報告の後、意見調整の結果、議案第1号(昭和60年度北海道一般会計補正予算)は附帯意見を付し原案可決、その他の議案はいずれも原案可決と決定した。
- ⑤ 会期最終日の10月28日は、昭和60年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも、原案可決または承認議決。次に、教育委員会委員等の人事案件5件、特別職職員の退職手当の額を定める件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも同意議決又は原案可決と決定。次いで、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を行い、議長指名により選出した。次に、「国鉄第2次特定地方交通線の名寄線等4線の存続に関する要望意見案」ほか1件の意見案を原案のとおり可決の後、請願審査の件について委員会決定のとおり2件を採択。次に、閉会申請願・陳情審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件はすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来34日目の10月28日午後5時19分閉会。

⑥ 提出案件の処理状況は次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況						計
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し 認定議決	認定議決	報告のみ	
知事	27	20	5	1	(4)	(2)	1	27(6)
議員	4	4(1)						4(1)
計	31	24(1)	5	1	(4)	(2)	1	31(7)

注 括弧内は、継続審査に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○9月25日（水） 午前10時41分開議、吉田政一議長、昭和60年第3回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から元道議会議員阿部英一氏（8月4日）、天谷平信氏（9月8日）、倉増新八郎氏（9月22日）の逝去について弔意を表した旨報告。

日程第2 会期決定の件を議題として今期定例会の会期を、本日から10月18日までの24日間と決定の後、議事進行の都合より、午前10時44分休憩、午後3時13分再開し、午後3時14分散会。

○9月26日（木） 午後3時26分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延会することに決定して、午後3時27分延会。

○9月27日（金） 午後3時19分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することとし9月28日は議事の都合により、休会することに決定して、午後3時20分延会。

○9月30日（月） 午後4時29分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、直ちに休憩、午後5時54分再開。諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後5時55分延会。

○10月1日（火） 午後3時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 前会より継続審査の決議案第3号を議題とし、川口常人エネルギー問題調査特別委員長（自民）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、吉田英治議員（社会）から反対討論、中川義雄議員（自民）から賛成討論、伊藤武一議員（公明）から反対討論、伊達忠一議員（道政）から賛成討論、大橋晃議員（共産）から反対討論がそれぞれあって討論終結。次いで、採決に入り、起

立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって、委員長報告のとおり原案可決と決定し、午後4時24分散会。

○10月2日（水） 午後4時開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時1分延会。

○10月3日（木） 午後4時7分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時8分延会。

○10月4日（金） 午後4時30分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することとし、10月5日は休会することに決定して、午後4時31分延会。

○10月7日（月） 午後2時37分開議、諸般の報告の後、議長から、10月1日の本会議における伊藤武一議員（公明）の発言中一部訂正の申し出が同議員からあったので会議録を訂正する旨発言。次いで、

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問に入り、

桜井 外治議員（自民）から、

○ 貯蔵工学センター立地環境調査に関し、動力炉・核燃料開発事業団理事長からの立地環境調査に係る協力要請に対する知事の対応のあり方、地方公共団体における議会と長との関係、動燃への回答と議会意思を尊重する旨の発言との関連、エネルギー問題調査特別委員会への連絡の欠如、動燃に対する回答書作成に係る事務処理の妥当性と決定書の提示方、高レベル放射性廃棄物処理施設の安全性に対する見解、海外視察において豊富町の地質図面を示し専門家の意見を求めた理由、立地環境調査を受け入れる状況にないとした判断根拠、国と地方公共団体との関係及び相互協力体制の重要性に対する所見、施設の安全性等に係る科学技術庁長官の発言に対する受けとめ方、貯蔵工学センターの立地を本道全体の問題として扱う根拠として函館市議会の反対決議を強調した理由、道議会で貯蔵工学センターの立地環境調査の促進決議案の可決

されたことに伴う議会意思のそんたくに対する見解等について

質問があり、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があって午後2時54分休憩、午後3時43分再開し、直ちに延会。

○10月8日（火） 午後4時2分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時3分延会。

○10月9日（水） 午後4時32分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時33分延会。

○10月11日（金） 午後4時23分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時24分延会。

○10月12日（土） 午前11時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問を継続、知事から10月7日の本会議における桜井外治議員（自民）の質問に対する答弁の後、桜井議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があって午前11時50分休憩、午後1時10分再開。

次いで、日程第1の議事を中止し、議長から日程の順序を変更し、日程第4（意見案第1号及び第2号）を先議することをはかり、異議なく決定の後、

日程第4 意見案第1号及び第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも原案のとおり可決することに決定し、午後1時12分延会。

○10月14日（月） 午後3時37分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後3時38分延会。

○10月15日（火） 午後3時42分開議、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員山下策雄氏の逝去（10月13日）について弔意を表した旨報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後3時43分延会。

○10月16日（水） 午後4時40分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後4時41分延会。

○10月17日（木） 午後4時40分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し直ちに休憩、午後7時6分再開、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後7時7分延会。

○10月18日（金） 午後4時42分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し直ちに休憩、午後5時47分再開、諸般の報告の後、

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問を継続、知事から10月12日桜井外治議員（自民）の再質問に対する答弁の後、桜井議員から要望。次いで、日程第1の議事を中止し、

追加日程 会期延長の件を議題とし、会期を10月28日まで10日間延長することをはかり、異議なく決定の後、引き続き日程第1の議事を継続し、緊急質問を継続、

小野 秀夫議員（道政）から、

○ 貯蔵工学センターの立地環境調査に係る動燃への回答に関し、道政は議会と長との共同作品である旨の発言とエネルギー問題調査特別委員会で決議案を審議中に動燃に回答したこととの矛盾、市町村の自発的な活動を重んずる考え方と今回の回答との関連、道と市町村とは対等の関係であるとする知事の考え方と今回の立地環境調査に係る関係市町村からの意見聴取が十分でなかったことについての所見、議会における知事の発言のもつ意味についての認識、立地環境調査の促進決議案に対する議会の意思決定前に動燃へ回答したことの妥当性及び今後の議会対応についての基本的な考え方、エネルギー問題調査特別委員会での委員の要望がとり入れられなかった理由、原子力エネルギーの平和利用の視点からみた貯蔵工学センター計画に対する評価、立地環境調査を実施し道民に判断材料を提供することの必要性、議会の決議を尊重し、動燃の調査に協力する考え等について

質問があり、知事から答弁、同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後6時44分休憩、午後6時45分再開し、直ちに延会。

○10月19日（土） 午後零時54分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午後零時55分延会。

○10月21日（月） 午後2時45分開議、諸般の報告の後、

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問を継続、知事から10月18日の小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁があり、同議員から再々質問、知事から答弁。同議員から議事進行発言があり、あらかじめ会議時間を延長の後、午後3時10分休憩、午後6時37分再開、知事から、再々質問に対する補足答弁。次いで、

日程第2 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、知事から提出案件に関する説明の後、

日程第3 前会より継続審査の報告第42号ないし第47号を議題とし、中崎昭一企業会計決算特別委員長（自民）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、報告第42号及び第45号ないし第47号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり報告第42号及び第47号は意見を付し設定議決、報告第45号及び第46号は認定議決。引き続き、報告第43号及び第44号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり報告第43号及び第44号は意見を付し認定議決。

次いで、議案調査のため、10月22日は休会することに決定して、午後6時57分散会。

企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和59年度北海道各事業会計決算にかかわる報告第42号ないし第47号の6件につき、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、第2回定例会の7月9日に設置され、直ちに正・副委員長との互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し、その後、7月12日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、閉会中継続審査に付するとともに、8月12日、13日の両日には、関係事業についての現地視察を行い、また、審査に必要な38項目の資料の提出を受け、決算内容の調査を行ったところであります。

次いで、8月19日から関係部局所管の審査に入り、8月29日をもって一切の質疑を終了した次第であります。

以下、関係部局所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

林務部所管におきましては、

道有林野事業会計の経営収支と森林施業及び育種事業の問題。

企業局所管におきましては、

電気事業、工業用水道事業及び工業団地開発事業に係る経営実態の問題。

衛生部所管におきましては、

道立病院に係る問題。

住宅都市部所管におきましては、

北広島団地開発事業に係る諸問題。

などでありまして、その内容につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知願いたいと存じます。

次に、質疑終結後、各会派代表者間において意見の調整を図りました結果、8月30日の委員会において、全会一致、報告第45号及び第46号は、認定議決、報告第42号ないし第44号及び第47号については、次に申し上げる意見、すなわち、

報告第42号については、

1. 道立病院の配置及び診療科目の設置、医療従事者の適正配置等について、地域の医療需要に応じた検討を進め、経営の健全化に努力すべきである。

次に、報告第43号については、

1. 森林資源の充実と公益的機能の増強を図るため、事業計画、事業の執行体制等について経営改善に一層努力すべきである。

次に、報告第44号については、

1. 宅地の処分方法についてさらに検討を進

め、早期処分について一層努力すべきである。

最後に、報告第47号については、

1. 現在保有している住宅団地の有効利用について検討を進めるとともに、その早期処分について一層努力すべきである。

以上の意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

○10月23日（水） 午前10時29分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、



大平 盛雄議員(社会)

から、① 知事の政治姿勢に関し、国鉄再建監理委員会の答中に対する道の対応、分割民営化に

についての考え方と対処方策、具体的な行動等の決意と対策、新計画基本構想における地域生活経済圏と広域生活圏との関連、中核都市、準中核都市及び中心都市の位置づけ、国鉄余剰人員問題と人口動態、国鉄問題と交通ネットワーク、新計画の作業策定スケジュールとスタート年次、簡素効率化調査会の今後のあり方、調査会の委員の任期、支庁制度のあり方に対する基本姿勢と今後の進め方、本年の人事委員会勧告にかかわる姿勢、給与勧告の完全実施

② 経済と財政問題に関し、景気の現状認識、明年度の開発予算の確保と補助金削減問題についての対処、明年度の予算編成方針

③ 産業振興対策に関し、雑豆の輸入規制措置、大豆の生産対策、北洋漁業にかかわる国の救済措置についての見通し、特別緊急融資措置の実績及び効果並びにその後の経過、減船乗組員の雇用対策、漁業種類別の再編成の考え方、漁業者に対する趣旨徹底の取り組み、スクラップ減船の実施見通し、韓国漁船の操業問題に対する取り組みと決意、木材製

品の関税引き下げに対する対策と森林・林業・木材産業活力回復5カ年計画の早期実施、国有林野事業における営林署の統廃合に対する受けとめと対処

④ 労働問題に関し、冬期雇用援護制度の活用状況、冬期雇用安定奨励金と冬期職業講習助成給付金の暫定措置に対する取り組み、通年雇用化への実効ある対策、今後の季節労働者対策

⑤ 医療問題に関し、精神障害者対策の基本的問題、在宅患者対策、今後の社会復帰施設の整備と精神障害者の援助対策

⑥ 教育問題に関し、日の丸、君が代の文部省通知に対する見解、教育課程の編成との関連、民主的教育行政の推進と教育新長期計画の策定に当たっての所信、生涯教育振興の基本的な見解、道教委、知事部局間の連携体制の確立、「社会教育総合センター」設置構想の取り組み状況と今後の対処

⑦ 公安問題に関し、年内の交通事故抑止対策、シートベルト着用運動の推進対策、高齢者の事故防止対策の取り組み等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時12分休憩、午後2時56分再開、次いで、



松崎 義雄議員(自民)

から、① 知事の政治姿勢に関し、本道景気の現状と対策、財源確保策、内需拡大策と地方債

枠の確保

② 新しい総合計画に関し、工業発展のための構想、労働力の確保や教育条件の整備などの手立て、新しい北海道総合開発計画との整合性についての認識、エネルギー政策における原子力の積極活用、農業基盤の整備、戦略プロジェクトの取り扱い

③ 当面する道政上の諸課題に関し、国鉄分割・民営化に伴う問題点と今後の取り組み、特定地方交通線の保留4線に対する基本的な考えと今後の対処方針、国鉄職員の余剰人員対策、国鉄問題と交通体系の基本構想、畑作振興の取り組み、てん菜の価格決定に当たっての糖分取引実現への取り組み、明年度の転作目

- ④ 産炭地域の振興対策等に関し、産炭地域の活性化、人口急減補正対策、バイオコールド製造工場の立地促進
- ⑤ 環境影響評価条例に関し、道条例と国の機関の要綱との調整、条例と要綱との整合性と条例の見直し検討の考え
- ⑥ 教育問題に関し、学校運営研修会のあり方、研修会不参加者の参加しなかった理由、主任に命課した側の責任等について
質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、知事及び教育長から答弁。次いで、

操上 良宏議員（自民）から、

- 農業問題に関し、農地の権利移動の動向と農家の圃場分散状況、農地の流動化対策、肉用牛農家経営の実態と受けとめ、肉用牛経営合理化資金の融資枠の見込みと融資需要への対応、中長期的な視点に立った効果的な経営安定対策、ヒメトビウソカ等による水稲被害の実態、水稲の作柄見通しを急速に変更する原因と実態、品質低下による被害の救済についての対応、全国的なたまねぎの生産、出荷の状況と今後の対応等について
質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後2時48分休憩、午後3時46分再開。次いで、

岩瀬 正人議員（自民）から、

- ① 民間防衛問題に関し、北方の脅威についての受けとめ、民間防衛対策に対する所見、民間防衛体制の整備と研究についての所見
- ② 新計画に関し、男女の役割分担意識、男女それぞれが生活者として自立する家庭のあり方、アメリカにおける家庭崩壊に対する所見、21世紀に向けての男女がともに参加する社会の実現、男女平等の教育にかかわる具体的な教科と内容、女子差別撤廃条約と日本の現状からみでの問題認識、条約第10条の概念と学校教育における教育内容の変更、教育課程編成、全国高等学校PTA連合会の大会決議の重さの受けとめ等について
質問があり、知事及び教育長から答弁、同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。次いで、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- ① 観光振興行政に関し、本道観光の通年化についてのこれまでの現状認識と検討状況、施

策の展開、観光の国際化の履行状況と実現の見通し、潜在観光資源の顕在化についての現状認識と対策、ローカルマーケット開拓についての所見とこれまでの対策、今後の対応方針、北海道観光ホスピタリティ運動の目的、内容、具体的な運動方策、指導援助、運動の成果と今後の対応、イベントの長期構想と新計画の取り組み

- ② 労働行政に関し、季節労働者が冬季に離職を余儀なくされている原因、現状の改善できる見込み、現状改善のための基本的な施策、冬期雇用援護制度存続に向けての対応、冬期就労促進対策費による具体的施策内容、通年雇用化推進会議の検討状況、雇用対策本部の機能と今後のあり方、季節労働者対策の基本的な方向等について

質問があり、知事から答弁、同議員から再質問、知事から答弁の後、午後5時15分延会。

○10月25日（金） 午前11時30分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続、

岩本 允議員（自民）から、

- 新長期計画の基本構想に関し、人口が社会増に転換する時期、650万人の人口予測のうち自然増及び社会増の内訳、道内定住の条件整備、人口の道内への流入基調へ変えることの可能性、経済成長率を4%台半ばとするための具体的な手だて、構想実現のためのローリングシステムによる推進計画の検討状況、計画策定後の新しい政策の取扱い、今後の税收の見通し、計画達成に必要な資金確保の基本的考え方、財政投融资金の活用に対する取り組み、民間資金導入の手法、外債の導入とコミュニティ・ボンドの事例及び問題点、新計画における可能性、政策的視点に立った融資制度の検討の必要性、計画全体を通ずる投資配分、資金計画の手法等について

質疑があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。引き続き、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 緑化問題に関し、環境緑化に対する知事の基本的な認識、道緑化指針の実効性確保のた

めの取り組み及び市町村との連携、都市緑化の重要性と市町村が整備する公園の整備状況、広域公園の整備に対する基本的考え方、国土保全等のための造林事業の取り組み、緑のふるさと整備事業の拡大、森林整備公社の事業の今後の見通し

② 水産問題に関し、漁業協同組合の合併に対する認識、合併の理由と今後の合併推進に対する取り組み

③ 雇用対策に関し、高齢者雇用就労対策についての基本的考え方、高齢者の職業能力の開発に対する具体策、新規学卒者の求人申込の早期実施を働きかけの考え、新規学卒者の道内での就職に対する対策、高齢者とは新規学卒者の就業対策上のバランスについての基本認識、失業対策事業における年齢の上限設定の動向に対する見解及び退職一時金制度創設についての所見

④ 青函博覧会の開催に関し、青函博開催に向けての取り組み及び今後のスケジュール、実行組織の構成団体及び主催者等について

質問があり、知事から答弁があって議事進行の都合により午後1時4分休憩、午後2時12分再開、次いで、

大橋 晃議員（共産）から、

① 知事の政治姿勢に関し、日の丸、君が代は国旗、国歌と考えているとの見解の法的根拠、憲法の理念との関連

② 国鉄の分割・民営化問題に関し、国鉄財政破綻の原因に対する見解、分割・民営化に対する見解

③ 泊原発に係る安全協定に関し、協定における住民意思の反映、環境放射線及び温排水の測定などにおける町村の主体性、監視協議会に北電が参加することの妥当性

④ 失業対策事業に関し、就労に対する年齢制限を画一的に実施しないよう国に要請する考え、道における本事業に対する検討体制を確立する必要性、退職金制度の創設に対する見解

⑤ 障害者対策に関し、障害者に対する北海道行動計画の進捗状況、道職員の身障者雇用率の上昇していない理由と今後の対処策

⑥ 教育問題に関し、日の丸・国歌に係る道教委の通知を撤回する考え、札幌市の過密学級

の実態把握と対処策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁、会議規則第57号ただし書の規定による発言許可の後、同議員から要望があり、**質疑並びに質問を終結。**次いで、

工藤啓二議員（公明）から、予算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これらの案件を付託の上、審査されたいとの動議を提出、賛成があつて動議成立、これを諮って異議なく決定。次の委員を議長指名により選任のうえ、議案第1号ないし第3号及び第9号ないし第11号は予算特別委員会に付託することに決定。残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した後、各委員会付託議案審査のため10月26日は休会することに決定して、午後3時散会。

○予算特別委員（31人）

大内 良一（社会）	伊達 忠一（道政）
岩瀬 正人（自民）	木戸浦隆一（自民）
操上 良宏（自民）	酒井 芳秀（自民）
高橋 一史（自民）	平井 進（自民）
村田 雄平（自民）	伊藤 武一（公明）
大島 一郎（社会）	高橋 庸（社会）
三沢 道男（社会）	小田原要四蔵（社会）
樫林 巖（社会）	工藤 啓二（公明）
綿貫 健輔（自民）	青山 章（自民）
高橋 康之（自民）	松崎 義雄（自民）
水岡 薫（自民）	青山 正男（自民）
石山 直行（自民）	岩田 徳弥（自民）
高木 繁光（自民）	小野 秀夫（道政）
長岡 寅雄（社会）	岩崎 守男（社会）
吉田 英治（社会）	藤井 虎雄（社会）
中崎 昭一（自民）	

○10月28日（月） 午後4時48分開議、あらかじめ会議時間を延長し、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、

岩田徳弥予算特別委員長（自民）から、議案第1号ないし第3号及び第9号ないし第11号について

高木繁光総務委員長（自民）から、議案第4号及び第5号について

伊藤弘建設委員長（自民）から、議案第6号、第12号、第13号及び第17号について

高橋康之水産委員長（自民）から、議案第7号、第14号及び第15号について

佐々木利昭文教委員長（自民）から、議案第8号、第18号及び第19号について

木下一見生活環境林務委員長（道政）から、議案第16号について

青木延男商工労働委員長（社会）から、報告第1号について

それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第1号、第4号、第5号、第8号、第11号ないし第16号、報告第1号に関する反対討論があって討論終結。

次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第4号、第5号、第8号、第11号ないし第16号及び報告第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもっていずれも委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。次に、日程第1のうち、議案第2号、第3号、第6号、第7号、第9号、第10号及び第17号ないし第19号を問題とし、異議なく、いずれも委員長報告のとおり原案可決。

日程第2 議案第20号ないし第25号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、まず、日程第1のうち、議案第20号、第21号及び第25号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、議案第20号及び第21号は同意議決、議案第25号は原案可決。次に、日程第2のうち、議案第22号ないし第24号を問題とし、いずれも異議なく原案のとおり同意議決。

日程第3 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙に入り、まず、選挙の方法についてはかり、異議なく指名推選の方法によることに決定。次に、指名の方法についてはかり、議長指名により行うことに決定の後、直ちに議長から、

平野明彦議員（自民）を指名、これをはかり、異議なく当選人と決定。

日程第4 意見案第3号及び第4号を議題と

し、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、いずれも異議なく原案のとおり可決。次いで、

日程第5 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく委員会決定（採択2件）のとおり採択と決定。次に閉会中請願・陳情審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びにエネルギー問題調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件はすべて議了。吉田議長から閉会に当たってあいさつがあり、午後5時19分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る10月25日に設置され、昭和60年度一般会計補正予算等6件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に平井進君、副委員長に大島一郎君、第2分科会は、委員長に高橋庸君、副委員長に村田雄平君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、26日から各部所管の審査に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、景気対策など、当面措置を要する経費について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ、172億7千万円余の補正予算を中心に道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会において論議の対象となりました主なる事項につきましては、別紙お手元に配

付の報告書により御承知願いたいと存じます。

質疑終結後、各会派代表者におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果いずれも意見の一致を見、先ほどの委員会におきまして議案第1号ないし第3号及び議案第9号ないし第11号の各案件は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号並びに審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 本道の最近の景気動向にかんがみ、景気対策予算の実施については、その波及効果に配慮し、適期適切に執行するとともに、公共事業等の拡大にも努めるべきである。
1. 行政事務の執行において、文書事務の処理並びに庁舎管理に極めて不適切な点が見られるので、文書の処理、庁舎管理についての見直しを行うなど、厳正、適切な執行体制の確立に努めるべきである。

という附帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ私の報告を終わります。

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
9. 25	1	昭和60年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	10. 28	原案可決
同	2	昭和60年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和60年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	5	札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	6	北海道流域下水道条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	7	北海道立水産孵化場条例の一部を改正する条例案	水 産	同	同
同	8	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	文 教	同	同
同	9	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	予算特別	同	同
同	10	稚内空港ビル株式会社（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	11	財団法人河川情報センター（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	12	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	13	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	14	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	15	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	16	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	生環林務	同	同
同	17	札内川ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	建 設	同	同
同	18	工事請負契約の締結（北海道旭川凌雲高等学校新築工事）に関する件	文 教	同	同
同	19	工事請負契約の締結（北海道胆振地区高等学校新築工事）に関する件	同	同	同
10. 28	20	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	21	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	22	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	23	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	24	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	25	特別職職員の退職手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
9. 25	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道工業技術センター（仮称）庁舎新築工事）	商工労働	10. 28	承認議決
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、7月29日1件、9月6日1件、9月7日2件、9月11日6件専決処分）			報告のみ

第3回定例会において議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果	備考
10. 7	1	昭和60年産畑作物価格等に関する要望意見書	中川義雄議員ほか13人	10. 12	原案可決	農務農開
10. 11	2	人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見書	高木繁光議員ほか13人	同	同	総務
10. 28	3	国鉄第二次特定地方交通線の名寄線等四線の存続に関する要望意見書	同	10. 28	同	同
同	4	農業用水の流水占用料徴収に関する要望意見書	中川義雄議員ほか13人	同	同	農務農開

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

前会から継続審査中の案件

決議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果	備考
7. 10	3	貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関する決議	新沼 浩議員ほか65人	10. 1	原案可決	自民、 道政

注 備考欄は提出者の所属党派等を示す。

報告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
7. 3	42	昭和59年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	10. 21	意見を付し 認定議決
同	43	昭和59年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	44	昭和59年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	45	昭和59年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	46	昭和59年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	47	昭和59年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し 認定議決

意見案

意見案第1号

(昭和60年3定
中川義雄議員ほか13人提出<農務農開>
昭和60年10月12日 原案可決)

昭和60年産畑作物価格等に関する要望意見書

本道においては、恵まれた土地資源を生かし、北方風土に根ざしたてん菜、馬鈴しょ、麦類、豆類を基幹作物とし生産性の高い畑作経営の確立に努めており、これらの作物は全国一の生産をあげるなど、我が国の畑作農産物の安定供給に重要な役割を果たしている。

しかしながら、畑作物の需要が伸び悩みの状況にあるのに加えて大幅な水田転作が実施され、更には、海外からの農産物市場開放要求が一段と強まるなど、本道畑作は厳しい状況におかれている。

つきましては、昭和60年産畑作物価格の決定に当たっては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 本道畑作の位置づけの確保について

てん菜、馬鈴しょ、豆類、麦類は、本道畑作の輪作体系上欠くことのできない基幹作物であるので、これら作物の合理的な作付体系を基本とした畑作物の生産について、国の公表している「農産物の需要と生産の長期見通し」の方向に沿って、その位置づけを確保すること。

2. てん菜及びてん菜糖について

(1) てん菜の最低生産者価格

農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格に定めること。

なお、糖分取引推進費は全額最低生産者価格に織り込むこと。

(2) てん菜糖の買入価格

原料費、集荷製造経費及び製糖歩留り等の実態に即して適正に定めること。

(3) 糖分取引への移行対策

糖分取引が61年産から新たな価格体系の基に円滑に実施できるよう、格別の配慮をすること。

(4) てん菜の生産振興対策

てん菜の生産性と品質の向上を図るため、土地基盤整備などの生産振興対策と高糖性品種の開発などの試験研究を早期に充実すること。

(5) てん菜糖の流通販売対策

消費拡大を含めたてん菜糖の円滑な流通販売を促進するとともに、糖価安定制度の適切な運用を図ること。

3. 馬鈴しょ及びでん粉について

(1) 馬鈴しょでん粉の原料基準価格

農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格を定めること。

(2) 馬鈴しょでん粉の政府買入基準価格

集荷・加工経費等の実態に即して適正に定めること。

(3) 馬鈴しょでん粉の流通対策

コンスターチ用とうもろこしに係る関税割当制度を延長し、適切な抱き合せ販売制度を継続すること。

(4) ジャガイモシストセンチュウ防除対策

馬鈴しょの安定的な生産を確保するため、ジャガイモシストセンチュウによる被害の防止対策を拡充強化すること。

4. 大豆について

(1) 大豆の基準価格

農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格に定めること。

(2) 大豆の生産振興対策

大豆の生産性と品質の向上を図るため、優良多収品種の早期開発と収穫乾燥作業機械化体系の確立を促進すること。

(3) 交付金大豆の流通経費

集荷・保管及び調製加工経費の実態に即して適正に定めること。

5. 関連諸対策について

(1) 水田転作による畑作物の生産が農産物の需給と畑作農家の経営に大きな影響を及ぼしているため、本道に対する転作等目標面積の傾斜配分を是正すること。

(2) 雑豆、でん粉等現行輸入規制措置を堅持するとともに輸入枠の拡大は行わないこと。

(3) 農業機械、肥料など農業生産資材の価格抑制並びに引下げ対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉田政一

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣 }

意見案第2号

(昭和60年3定
高木繁光議員ほか13人提出<総務>
昭和60年10月12日 原案可決)

人事院勧告の早期完全実施を求める要望意見書

政府は、現在、公務員給与の改定に係る人事院勧告の実施の是非について検討中であるが、この人事院勧告制度は、公務員の労働基本権制約の代償措置として制度化されたものであり、労使関係の健全な維持という観点から、また、連年にわたる給与改定の凍結・抑制により、公務員の生活が厳しい状況にあることから、政府は人事院勧告を尊重し、完全実施すべきものとする。

このことは、単に国家公務員とその家族だけでなく、地方公務員、恩給・年金受給者や生活保護世帯など国民各層の生活のみならず、中小零細企業の経営にも大きな影響を及ぼし、景気の立ち直りにつながる重要な問題である。

しかし、地方財政は、非常に厳しい状況にある。

よって、政府におかれては、人事院勧告を尊重されるとともに、これに係る財源の確保を図るなど地方財政負担の軽減措置を講じられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉田政一

内閣総理大臣、大蔵大臣、 } 各通
自治大臣、総務庁長官 }

意見案第3号

(昭和60年3定
高木繁光議員ほか13人提出<総務>
昭和60年10月28日 原案可決)

国鉄第二次特定地方交通線の名寄線等四線の存続に関する要望意見書

名寄線、天北線、池北線及び標津線の四線については、百キロメートルを超える長大路線であり、沿線市町村の数も多く、地域の基幹的な交通機関として、地域の住民生活や産業活動に重要な役割を果たしているものであり、鉄道は不可欠なものである。

また、これらの地域は、厳寒の地であり、厳しい自然条件下におかれており、全線バス運行を確保することは極めて困難な状況にある。

よって、政府においては、地域の実情を十分勘案し、これら四線を鉄道として存続されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉田政一

内閣総理大臣、運輸大臣、
総務庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

意見案第4号

(昭和60年3定
中川義雄議員ほか13人提出<農務農開>
昭和60年10月28日 原案可決)

農業用水の流水占用料徴収に関する要望意見書

建設省は、昭和61年度予算概算要求において農業用水から流水占用料等を徴収し、治水特定財源とする制度の創設を図ることとしている。

農業用水は、古くから農業者自らが多大の努力と負担のもとに、その開発と維持に努めてきたものであり、また、広大な水田を通じて地下水の涵養機能、治水機能並びに地域用水としての機能など、環境保全、国土保全に重要な役割を担っており、社会性、公益性が極めて強い性格を有しているものである。

このような歴史的背景及び性格を有する農業用水については、旧河川法の制定時から使用料徴収の対象としないこととされており、新河川法においても同様の方針が踏襲されてきたところである。

特に、北海道の農業は厳しい自然条件の下にあって、豊かな土地と水資源を背景に、本道の基幹産業として発展し、我が国の主要な農業生産地帯として大きな役割を果たしているが、近年米価を初め、農産物価格の低迷、生産資材価格の上昇及び大幅な水田転作等の実施により、農業経営をめぐる環境はまことに厳しいなかで、農業者はおいしい米作りと生産コスト低減に懸命の努力を続けている。

したがって、農業用水から新たに流水占用料を徴収することは、農家負担の増大を招き、農家経営を圧迫するものであり、国際化時代に対応できる生産性の高い農業を目指す本道農業にとって極めて重大な影響をもたらすものである。

よって、政府は、このような歴史的経緯と現状から農業用水の流水占用料について、従来どおりの措置を継続するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 吉 田 政 一

内閣総理大臣、大蔵大臣、
農林水産大臣、建設大臣 } 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
69	名寄本線・天北線・池北線及び標津線存続の件	国鉄名寄本線外地方交通線対 策協議会 代表会長 紋別市長 金田武ほか3人	総 務	採 択
70	道道赤平・奈井江線の歌志内地区街路事業の未着工区間の早期着工を求める件	歌志内市字文珠228番地4 亀田武治ほか4人	建 設	継続審査
71	大型間接税の導入をとりやめ、大幅減税等を求める件	大型間接税反対のための道民 連絡会代表 全北海道労働組合協議会 議長 森尾 昇	総 務	同
72	「国家機密法」に反対の件（外31件）	北海道高等学校教職員センタ ー内 事務局長 伊藤英敏	同	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
47	道営住宅若竹団地3号棟に物置を求める件	建 設	採 択
58	暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件	同	議決不要

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	同
66	「非核北海道宣言」を求める件	同
52	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	生 環 林 務
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚 生
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同

文書表 番号	件名	付託委員会
18	灯油値下げに関する件	厚生
54	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
60	無認可保育所への助成に関する件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	同
45	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	同
51	対ソ貿易の振興についての件	同
53	「灯油の適正価格販売と安定供給」決議を求める件	同
61	江差労働基準監督署の廃止計画案の撤回に関する件	同
62	季節労働者対策の充実に関する件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農務農開
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	同
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために適切な施策を求める件	建設
63	季節労働者対策の充実に関する件	同
48	水産問題に関する件	水産
56	太平洋海域におけるアカイカ流網漁業の実現に関する件	同
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同
59	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	同
49	原子力関連施設誘致実現に関する件	エネルギー問題調査特別
50	幌延町への核廃棄物施設設置に反対する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
18	外国人登録法の改正要請方に関する件	同
22	手稲山の自然保全を求める件	生環林務
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	同
14	自閉症収容施設建設場所の移転に関する件	同
15	医療保険制度改定に反対する決議に関する件	同
16	アイヌ民族に関する法律制定に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	1級河川十勝川水系札内川第2札内橋架橋促進に関する件	建 設
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	同
13	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	文 教
19	非木造校舎（ブロック造）の危険改築制度の創設と銭函小学校の改築に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○9月18日（水） 午後2時、議会運営委員会室において開議、午後2時10分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 委員長から、元道議会議員阿部英一氏（釧路市選出、第15期～第17期在職）の逝去（8月4日）及び元道議会議員天谷平信氏（網走支庁選出、第14期～第20期在職）の逝去（9月8日）について報告。

② 第3回定例会の招集期日を9月25日とすること、会期は申し合せにより24日間とすることを決定。

③ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

④ 第3回定例会の日程について、橋浪蔵委員（自民）から、決議案第3号（貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関する決議）については、先議の扱いとしてもらいたい旨の要望があり、各派の委員の意見交換の後、日程については、招集日当日の議事日程も含め、各派で検討し、次回委員会において協議の上決定することをはかり、異議なく決定。

⑤ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政とすることを了承。委員長から、代表質問における各会派の発言時間の使用状況について報告。

⑥ 委員長から、前会から継続審査中の決議案第3号について、本日のエネルギー問題調査特別委員会において、原案可決と決定し、審査を終了した旨報告。本件の取り扱いについては、次回委員会で協議の上決定することを了承。

⑦ 企業会計決算特別委員会において前会から継続審査中の付託案件について、審査を終了した旨報告。本件の取り扱いについては、次回委員会において協議の上決定することを了承。

⑧ 関根建二委員（社会）及び橋浪蔵委員（自民）から、エネルギー問題調査特別委員会における決議案第3号の審議に関して発言。

○9月24日（火） 午後3時24分、議会運営委員会室において開議、午後3時29分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 決議案第3号の取り扱いについて、各派での検討の結果をそれぞれ発言の後、意見が一致しないため、更に会派間で協議を行うこと、明25日の本会議の持ち方については、明日の委員会で協議することを了承。

② 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○9月25日（水） 午前9時54分、議会運営委員会室において開議、午後3時2分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 委員長から、元道議会議員倉増新八郎氏（岩見沢市選出、第17期～第19期在職）の逝去（9月22日）について報告。

② 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、各派の意見が一致していない旨を報告。橋浪蔵委員（自民）から、同決議案を先議する方向での努力方、幌延関係について緊急質問で臨む用意を行っている旨発言。自民党の緊急質問に対する取り扱いについて、各派間で検討することを了承。

③ 本日の本会議について、取りあえず開会し、会議録署名議員の指定を行い、会期を本日から10月18日までの24日間とすることを議決した後、休憩することをはかり、異議なく決定。

④ 本日送付のあった議案については、各控室に配付することを了承。午前9時57分休憩、午後3時1分再開。

⑤ 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、各派の意見が一致していないため、本日の本会議は、再開の後、散会することをはかり、異議なく決定。

○9月26日（木） 午前10時56分、議会運営委員

会室において開議、午後3時
11分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、引き続き協議中である旨発言の後、午前10時56分休憩、午後3時10分再開。
- ② 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、各派の意見が一致していないため、本日の本会議は日程を延期し延会することを決定。

○9月27日（金） 午前9時47分、議会運営委員
会室において開議、午後3時
3分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、引き続き協議中であり、委員会を一旦休憩したい旨発言。
- ② 橋波蔵委員（自民）から、明28日は土曜日であり、委員会の申し合せにより土曜日は休会とする運用であり、この取り扱いについての検討方、審議促進のため30日の月曜日を、運用での午後1時開会から午前10時開会とするよう検討されたい旨発言があり、午前9時48分休憩、午後3時1分再開。
- ③ 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、引き続き協議中であり、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ④ 議事の都合により、9月28日は休会、9月30日再開することとし、本会議は午前10時に開会することを決定。
- ⑤ 建設委員長が、全国道路利用者会議に出席のため、本会議を欠席することを了承。

○9月30日（月） 午前11時22分、議会運営委員
会室において開議、午後5時
43分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、引き続き協議中であることを報告。午前11時22分休憩、午後2時48分再開。
- ② 決議案第3号の取り扱いについて、各委員から各会派の検討状況を報告、決議案第3号の先議及び緊急質問の取り扱いについての意

見交換があり、さらに各会派で検討すること
を了承。午後3時9分休憩、午後4時15分再
開。

- ③ 本日の本会議は取りあえず会議時間を延長することを決定。午後4時16分休憩、午後5時42分再開。
- ④ 本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ⑤ 北方領土対策特別委員長外委員1名が、北海道開発庁事務次官の北方領土視察等に同行のため、本日及び明日の本会議を欠席することを了承。

○10月1日（火） 午後3時14分、議会運営委員
会室において開議、午後3時
17分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 委員長から、9月18日、議長に対し社会党議員会長から措置要求があり、議長は、局面打開のため、エネルギー問題調査特別委員会正副委員長に対し議長において措置した旨報告。

（措置内容）

- 1. 委員会運営に当たっては、長年に亘る議会の良好な慣行を尊重していただき、今後とも円滑かつ効率的な運営に努められるよう要望する。
 - 2. 委員長報告文に各会派が述べられた討論の趣旨を挿入し、本会議において委員長から報告する。
- ② 委員長から、決議案第3号の取り扱いについて、本件を先議する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
 - ③ 本会議は、日程第1として決議案第3号を上程し、議事終了後、本会議を散会することに決定。
 - ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 前会より継続審査の決議案第3号
決議案第3号 貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関

する決議

川口常人エネルギー問題調査特別委員長の報告

(討論)

1. 吉田英治議員(社会)の決議案第3号に関する反対討論
2. 中川義雄議員(自民)の決議案第3号に関する賛成討論
3. 伊藤武一議員(公明)の決議案第3号に関する反対討論
4. 伊達忠一議員(道政)の決議案第3号に関する賛成討論
5. 大橋晃議員(共産)の決議案第3号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 決議案第3号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決
(社会、公明、共産反対)

○10月2日(水) 午前10時17分、議会運営委員会室において開議、午後3時39分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 委員長から、桜井外治議員(自民)及び小野秀夫議員(道政)から緊急質問の通告があったことを報告。本件の取り扱いについて、各派の委員が意見を交換し、意見が一致しないため、各派で検討することを了承。午前10時35分休憩、午後3時38分再開。
- ② 委員長から、緊急質問の取り扱いについて、検討中であり、本会議は日程を延期し延会することを了承。
- ③ 総務委員長及び副委員長が、国鉄地方交通線問題等に関する中央折衝のため、本日から2日間上京することを了承。

○10月3日(木) 午前9時52分、議会運営委員会室において開議、午後3時55分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 委員長から、緊急質問の取り扱いについて、検討中であることを報告。午前9時53分

休憩、午後3時53分再開。

- ② 委員長から、緊急質問の取り扱いについて、検討中であり、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ③ 上田副知事及び水産部長が、カニ、ツブ、エビ漁業者等に対する救済対策の中央要請のため、本日と明日の本会議を欠席することを了承。

○10月4日(金) 午前9時56分、議会運営委員会室において開議、午後4時23分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 委員長から、緊急質問の取り扱いについて、検討中であることを報告。午前9時57分休憩、午後3時19分再開。
- ② 緊急質問の取り扱いについて、各派の検討状況を報告。今津寛委員(自民)から、理事者の見解について質問があり、総務部長から答弁。各委員間の意見交換及び質疑があり、関連して吉田議長から科学技術庁長官との会談後の記者会見の発言内容について説明。午後3時37分休憩、午後4時20分再開。
- ③ 緊急質問の取り扱いについて、関根建二委員(社会)から本件の解決に努力をする旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ④ 議事の都合により、10月5日は休会、10月7日再開することとし、7日は午前10時開会とすることを決定。
- ⑤ 水産委員長及び副委員長が、北洋漁業救済対策に関する中央折衝のため、本日から2日間上京することを了承。

○10月7日(月) 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午後3時30分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 緊急質問の取り扱いについて、関根建二委員(社会)から、なお時間を要する旨発言があって、午前9時45分休憩、午後1時52分再開。
- ② 伊藤武一議員(公明)の10月1日の本会議における発言の訂正について、議長に申し出

があり、本日の本会議で議長から報告の上、会議録を訂正することを了承。

- ③ 緊急質問の取り扱いについて、関根委員から、緊急質問に同意すること、緊急質問に関する申し合せ事項（緊急質問で時間をかけた問題については、代表質問、一般質問で重複質問をすることのないよう自粛する）を配慮するよう発言。橋浪蔵委員（自民）から、緊急質問に関する申し合せ事項を尊重する旨発言。

委員長から、緊急質問の取り扱いについて、各派の同意が得られたので、許可すること、緊急質問の発言順位を、1番桜井外治議員（自民）、2番小野秀夫議員（道政）とすることを決定。

- ④ 意見案第1号の提出があったことを報告。
⑤ 本日の本会議について、次のとおり取り進めることを決定。

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問

日程第2 議案第2号ないし第19号及び報告第1号

日程第3 前会より継続審査の報告第42号ないし第47号

日程第4 意見案第1号

日程第1の緊急質問終了後、本会議は一旦休憩し、今後の進め方について協議することを了承。午後1時55分休憩、午後3時29分再開。

- ⑥ 総務部長から、桜井議員の緊急質問に対する知事の答弁準備に時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ、延会することを決定。

○10月8日（火） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午後3時51分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、昨日の桜井外治議員（自民）の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時42分休憩、午後3時50分再開。
② 総務部長から、昨日の桜井議員の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言

の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

- ③ 水産委員長が、北洋漁業救済対策に関する中央折衝のため、本日東京することを了承。

○10月9日（水） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後4時25分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、10月7日の桜井外治議員（自民）の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、橋浪蔵委員（自民）から、知事答弁の目ど、取り組み姿勢等について質疑及び要望があり、総務部長から答弁。午前9時51分休憩、午後4時24分再開。
② 総務部長から、10月7日の桜井議員の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○10月11日（金） 午前9時53分、議会運営委員会室において開議、午後4時17分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、10月7日の桜井外治議員（自民）の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、橋浪蔵委員（自民）から、答弁準備及び緊急質問に係る新聞報道に関し、質問があり、総務部長及び関根建二委員（社会）から答弁。午前9時59分休憩、午後4時15分再開。
② 委員長から意見案第2号の提出があったことを報告。
③ 総務部長から、10月7日の桜井議員の緊急質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○10月12日（土） 午前10時2分、議会運営委員会室において開議、午後零時52分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、10月7日の桜井外治議員（自民）の緊急質問に対する答弁準備が出来

た旨発言の後、本日の本会議は、桜井議員の緊急質問に対する知事の答弁から入ることを了承。

- ② 本会議について、緊急質問、1番桜井外治議員(自民)継続、2番小野秀夫議員(道政)を行った後、本会議を休憩し、今後の審議日程等を協議することを了承。午前10時3分休憩、午後零時51分再開。
- ③ 総務部長から、桜井議員の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、再開後の本会議は、日程第1の緊急質問の議事を中止し、議事日程の変更を行ない、日程第4の意見案第1号及び第2号を先議することとし、これを議決の後、延会することをはかり、異議なく決定。

○10月14日(月) 午前9時54分、議会運営委員会室において開議、午後3時30分散会
委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 総務部長から、10月12日の桜井外治議員(自民)の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時55分休憩、午後3時29分再開。
- ② 総務部長から、10月12日の桜井議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○10月15日(火) 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後3時33分散会
委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員山下策雄氏(芦別市選出、第16期～第18期在職)の逝去(10月13日)について報告。
- ② 総務部長から、10月12日の桜井外治議員(自民)の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時44分休憩、午後3時27分再開。
- ③ 総務部長から、10月12日の桜井議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。橋浪蔵委員(自民)から、理事者側の対応、答弁の日ど、会期と日程に対する認識、

今後の努力方等について質疑及び意見があり、総務部長から答弁。同委員から、社会党に対し与党の立場での議会の審議促進方について要望があり、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

- ④ 農務委員長外委員3名が、昭和60年産畑作物価格等に関する中央折衝のため、本日から2日間上京することを了承。
- ⑤ 上田副知事が、昭和60年産畑作物価格などに関する中央陳情のため、本日から2日間上京することを了承。

○10月16日(水) 午前9時57分、議会運営委員会室において開議、午後4時27分散会
委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 総務部長から、10月12日の桜井外治議員(自民)の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時58分休憩、午後4時25分再開。
- ② 総務部長から、10月12日の桜井議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ③ 総務委員長及び副委員長、委員1名が、人事院勧告の早期完全実施に関する中央折衝のため、本日上京することを了承。

○10月17日(木) 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午後4時59分散会
委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 総務部長から、10月12日の桜井外治議員(自民)の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時45分休憩、午後4時29分再開。
- ② 本日の本会議は、取りあえず会議時間を延長することを決定。午後4時29分休憩、午後4時58分再開。
- ③ 総務部長から、10月12日の桜井議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

○10月18日（金） 午前9時54分、議会運営委員会室において開議、午後5時38分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、桜井外治議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時55分休憩、午後4時30分再開。
- ② 委員長から、議長から各派会長会議において協議の結果、会期を10月28日まで10日間延長する各派の意向であり、委員会で協議されたい旨話があったことを報告の後、今期定例会の会期を10月28日まで10日間延長することをはかり、異議なく決定。
- ③ 本日の本会議について、取りあえず会議時間を延長することを決定。午後4時32分休憩、午後5時36分再開。
- ④ 総務部長から、桜井議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、桜井議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ⑤ 再開後の本会議について、緊急質問、1番桜井外治議員（自民）継続、2番小野秀夫議員（道政）となるが、桜井議員の質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として、10月28日まで10日間の会期延長を議決した後、引き続き、小野議員の緊急質問を行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 今後の審議日程について、緊急質問を終了した時点で改めて協議することを了承。

○10月19日（土） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後12時43分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、小野秀夫議員（道政）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時43分休憩、午後12時42分再開。
- ② 総務部長から、小野議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。
- ③ 文教委員長及び国民体育大会推進特別委員

長が、第40回国民体育大会秋季大会開会式に出席のため、本日の本会議を欠席することを報告。

○10月21日（月） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後6時15分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

- ① 総務部長から、小野議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、橋浪蔵委員（自民）から、今後の審議日数、知事の答弁準備に日数を費やしている現状、理事者の心構え、答弁に対する対応について、質疑及び意見等があり、総務部長から答弁。委員長から、理事者に対し審議の促進方に十分心して対応するよう発言があり、午前10時51分休憩、午後2時28分再開。
- ② 総務部長から、答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、小野議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 今後の審議日程等について、緊急質問終了後、協議することを了承。午後2時30分休憩、午後6時10分再開。
- ④ 議長から、休憩前の本会議における小野議員の議事進行発言については、知事から補足答弁を行うこととし、これまでの議会における審議経過を踏まえ、今後とも議会と執行機関との相互関係について、十分留意して慎重に対処するよう知事に申し入れた旨報告の後、了承。
- ⑤ 総務部長から、小野議員の議事進行発言に関し、知事から補足答弁を行いたい旨発言の後、本日の本会議は、小野議員の質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。
- ⑥ 再開後の本会議について、次のとおり取り進めることに決定。
日程第1 小野秀夫議員（道政）の緊急質問の継続
日程第2 前会より継続審査の報告第42号ないし第47号
- ⑦ 今後の審議日程について、次のとおり取り進めることに決定。
▽ 審議日程
10月21日 本会議（提案説明）

10月22日	休 会	委員長報告（いずれも意見を付し認定
23日	本会議（代表質問）	議決）のとおり決することについて簡
24日	本会議（一般質問）	易採決
25日	本会議（一般質問、予	議案調査のための休会日の決定
	算特別委員会設置）	（10月22日）
26日～27日	休 会	
28日	本会議	

⑧ 代表質問の通告について、本日中に提出することを了承。

⑨ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めること、通告は10月22日正午までに提出することを了承。

⑩ 予算特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については、原案のとおりとすること、(2)委員名簿は、10月23日まで提出すること、(3)委員会設置動議の提出は、公明が行うことを了承。

⑪ 議案調査のため、10月22日は休会し、10月23日再開することを決定。

⑫ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることを決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 貯蔵工学センター立地環境調査に関する緊急質問(1人・継続)

日程第2 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
提出議案に関する知事の説明

日程第3 前会より継続審査の報告第42号ないし第47号
中崎昭一企業会計決算特別委員長の報告

（討論）

1. 大橋晃議員の報告第42号及び第45号ないし第47号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 報告第42号及び第45号ないし第47号を問題とし、委員長報告（報告第42号及び第47号は意見を付し認定議決、報告第45号及び第46号は認定議決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

2. 報告第43号及び第44号を問題とし、

○10月23日（水） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午前9時46分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 委員長から、元道議会議員金沢藤吉氏（渡島支庁選出、第13期及び第14期在職）の逝去（10月21日）について報告。

② 代表質問の通告（4人）について報告。本日4人行うことを了承。

③ 一般質問の通告（7人）について報告。個人別順位について決定。24日5人、25日2人行うことを決定。

④ 建設委員長が、本日全国道路利用者会議に出席することを了承。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

元議員の逝去報告

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（代表質問4人）

○10月24日（木） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午前9時49分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

① 本日の本会議について、代表質問3人（1人継続）を行った後、一般質問5人行うことを了承。

② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（代表質問

3人・うち1人継続、一般質問
5人)

○10月25日(金) 午前9時46分、議会運営委員
会室において開議、午前9時
50分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承
- ② 本日の本会議について、一般質問の3人となることを了承。
- ③ 予算特別委員会について、各派別分科委員数については、各会派で調整し、決定した旨報告。委員の選任について、各会派から提出された名簿のとおり選任することを了承。設置動議は、工藤啓二議員(公明)が提出することを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 各委員会付託議案審査のため、10月26日は休会し、28日再開することを決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号

質疑並びに一般質問(一般質問
3人)

(質疑終結宣告)

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定
(10月26日)

○10月28日(月) 午後4時24分、議会運営委員
会室において開議、午後4時
29分散会

委員長 古川 靖晃(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議をすべて議了した旨報告。
- ② 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。

③ 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について、宇野眞平議員(自民)の辞職に伴い、同組合管理者から、補欠議員の選出依頼があり、本日の本会議で補欠選挙を行うこと、選挙すべき議員は1名であり、選挙の方法は、指名推せんとし、議長が指名することをはかり、異議なく決定。

補欠議員については、各会派会長会議において、自民から推せんすることに決定され、議長に対し、平野明彦議員(自民)の推せんがあった旨報告。

- ④ 意見案第3号及び第4号の提出があった旨報告の後、いずれも本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑤ 各関係委員長から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号

予算特別、総務、建設、水産、
文教、生活環境林務、商工労働
各委員長の報告

(討論)

1. 大橋晃議員の議案第1号、第4号、
第5号、第8号、第11号ないし第16号
及び報告第1号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第1号、第4号、第5号、第8号、
第11号ないし第16号及び報告第1号
を問題とし、委員長報告(議案はすべて
可決、報告は承認議決)のとおり決す
ることについて起立により採決
(共産反対)
2. 議案第2号、第3号、第6号、第7号、
第9号、第10号、第17号ないし第
19号を問題とし、委員長報告(すべて
可決)のとおり決することについて簡
易採決

常任委員会

総務委員会

○8月6日(火) 午後1時49分、第5委員会室
において開議、午後2時20分
散会
委員長 高木 繁光(自民)

一般議事

- ① 委員長から、国鉄再建監理委員会の答申に
関し、国鉄北海道総局から説明を受け、意見
交換を行うため、9月開催の委員会終了後、
協議会を開催することを理事会で決定した旨
報告。
- ② 開発調整部長から、国鉄再建監理委員会の
最終答申「国鉄改革に関する意見」について、
概要及び北海道の扱いについて説明。
- ③ 開発調整部長から、国鉄第2次特定地方交
通線の承認保留4線の選定承認された経過に
ついて説明。
- ④ 委員長から、さきに実施した高率補助の一
律削減問題に関する中央折衝の概要について
口頭により報告。

○9月3日(火) 午後1時25分、第5委員会室
において開議、午後3時45分
散会
委員長 高木 繁光(自民)

一般議事

- ① 委員長から、総務委員会協議会を本日の議
事終了後、委員会を休憩し、開催することと
し、各委員の出席を求めた。
- ② 総務部長から、外務公務員の解任について
報告。
- ③ 総務部長から、台風13号による被害状況に
ついて報告。
- ④ 委員長から、さきに実施した道内調査につ
いて、報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 総務部長から、「行政改革大綱」の策定に
ついて報告の後、
国本康夫委員(自民)から、行財政の簡素
化について、本委員会への報告と進め方につ

いての経過、検討の経過・結果等について定
期あるいは適期の本委員会への報告の必要
性、小野秀夫委員(道政)から、58年2定の
代表質問での知事答弁(今後皆さんの意見お
伺いしながら)と今回素案の段階で本委員
会に報告がなかったこととの矛盾、議会での
提言の受けとめ方等について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答
弁。本委員会協議会開催のため、午後1時50
分休憩、午後3時42分再開の後、直ちに散
会。

○9月24日(火) 午前10時20分、第5委員会室
において開議、午前10時27分
散会
委員長 高木 繁光(自民)

一般議事

- 総務部長、開発調整部長及び警察本部総務
部長から、第3回定例会提出予定案件につい
て、それぞれ説明。

○10月8日(火) 午後3時、第5委員会室にお
いて開議、午後3時3分散会
委員長 高木 繁光(自民)

一般議事

- 委員長から、人事院勧告の早期完全実施を
求める要望意見案について、配付の案文によ
り発議することをはかり、異議なく決定。

○10月28日(月) 午後4時、第5委員会室にお
いて開議、午後4時10分散会
委員長 高木 繁光(自民)

付託案件の審査

- 議案第4号(札幌医科大学条例の一部を改
正する条例案)及び議案第5号(札幌医科大
学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例
案)を順次議題とし、総務部長からそれぞれ
説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可
決することに決定。

請願・陳情の審査

請願

第69号 名寄本線・天北線・池北線及び標
津線存続の件 (採択)
残余の請願、陳情については、今後付託さ

れるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一般議事

- ① 委員長から、国鉄第2次特定地方交通線の名寄線等4線の存続に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 人事委員会事務局長から、昭和60年職員の給与に関する報告及び給与改定に関する勧告の概要について説明。

○10月29日（火） 午前10時14分、第5委員会室において開議、午前10時16分散会

委員長 高木 繁光（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期は11月5日から5日間とし、派遣委員等は委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、国鉄地方線問題に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

生活環境林務委員会

○8月6日（火） 午後1時48分、第3委員会室において開議、午後2時19分散会

委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- ① 委員長から、道内調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 酒井芳秀委員（自民）から、道産材の需要拡大に関し、針葉樹製材業についての認識、木材需要の基本的な見通し、新設住宅の着工戸数と増改築の推移、紙パルプの需要や技術開発による新しい需要など今後の見通し、木

材の需要拡大対策、公共事業や公共施設への木材使用の実績、需要拡大運動推進のために新たな協議会を組織化することに対する見解等について

質疑、意見があり、林務部長から答弁。

○9月3日（火） 午後1時15分、第3委員会室において開議、午後1時20分散会

委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和61年度開発関係予算に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ② 林務部長から、昭和61年度林業関係開発予算概算要求の概要について説明。

○9月24日（火） 午前10時24分、第3委員会室において開議、午前10時35分散会

委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- ① 生活環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 生活環境部長から、泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定の締結に係る状況について報告。

○10月28日（月） 午後3時51分、第3委員会室において開議、午後4時散会
委員長 木下 一見（道政）

付託案件の審査

- 議案第16号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり

り、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時2分、第3委員会室
において開議、午前10時7分
散会
委員長 木下 一見（道政）

一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてはか
り、異議なく決定。実施時期は11月6日から
4日間とし、派遣委員等については、委員長
に一任することとした。
- ② 林務部長から、水源税の趣旨等について説
明。

厚生委員会

○8月6日（火） 午後1時47分、第9委員会室
において開議、午後1時54分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- ① 委員長から、道内調査の実施についてはか
り、異議なく決定。派遣委員等については、
委員長に一任することとした。
- ② 衛生部長から、ジェチレングリコールが混
入されている輸入ワインについて報告。

○9月3日（火） 午後1時22分、第9委員会室
において開議、午後2時29分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国民健康保険
の財政措置に関する中央折衝の概要について
報告。
- ② 民生部長から、さきに実施した昭和60年度
サハリン州地域墓参の概要について報告。
- ③ 民生部長から、社会福祉法人函館創和会の
競売問題について報告の後、
大橋晃委員（共産）から、法人の指導監督
の経過について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答
弁。

④ 大橋晃委員（共産）から、精神障害者の社
会復帰対策に関し、音更町に設置したリハビ
リテーションセンターの1年間の利用実績、
59年度の収支及び60年度の見込み、北海道保
健医療基本計画に基づく2番目の施設設置に
ついての知事と札幌市長との合意内容、設置
主体及び設置場所、設置の時期及び住民の合
意、施設の機能・規模、基本計画の今後の見
通し、職親制度の概況と最近の実績、国の制
度との違い、訓練手当を引き上げる考え、職
業適応訓練制度の理解及び職親制度との関
連、心身障害者対策協議会等でのケア付住宅
の論議内容、精神障害者のケア付住宅に対す
る見解、小規模作業所の実態と道の補助及び
他府県の状況、国の補助制度の状況、61年度
概算要求で補助制度創設が見送られたことに
対する見解、道の補助の拡充等について
質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛
生部長から答弁。

○9月24日（火） 午前10時20分、第9委員会室
において開議、午前10時26分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- ① 委員長から、北海道地方医療機関整備審議
会委員に村田雄平委員（自民）を推せんす
ることをはかり異議なく決定。
- ② 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会
提出予定案件について説明。

○10月28日（月） 午後3時56分、第9委員会室
において開議、午後3時58分
散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、
今後付託されるものも含め、閉会中継続審査
の申し出をすること、及び所管事務について、
閉会中継続調査の申し出をすることをはか
り、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時19分、第9委員会室
において開議、午前10時34分

散会
委員長 渋谷 澄夫（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道外の厚生事情調査の実施及び北霊碑慰霊祭への参列についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 民生部長及び衛生部長から、蒔田病院指導監査結果について報告の後、
浅野俊一委員（公明）から、道の対応について
意見があった。

商 工 労 働 委 員 会

○8月6日（火） 午後2時、第8委員会室において開議、午後2時7分散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した北洋漁業救済対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 労働部長から、季節労働者の冬期職業講習にかかるその後の経過に関し報告の後、
伊藤豪委員（自民）から、冬期講習会の適任な講師の選択、講師一覧表の届出等について
質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

○9月3日（火） 午前11時12分、第8委員会室において開議、午前11時20分散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した季節労働者の冬期雇用給付金の存続に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内及び道外商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

③ 木本由孝委員（自民）から、来年度大卒者の就職見通しについて調査方要望があった。

○9月24日（火） 午前10時43分、第8委員会室において開議、午前10時54分散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長及び労働部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内及び道外の商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 労働部長から、大卒予定者に関し、道外企業からの青田買い、業界に対する行政の指導等について報告。

○10月28日（月） 午後3時58分、第8委員会室において開議、午後4時5分散会
委員長 青木 延男（社会）

付託案件の審査

- 報告第1号（北海道工業技術センター庁舎の新築工事請負契約締結に関する専決処分）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時12分、第8委員会室において開議、午前10時33分散会
委員長 青木 延男（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長から、中小企業振興資金の融資利率の改訂について説明。
- ② 労働部長から、労働部所管の融資制度融資利率の改訂について説明。

- ③ 労働部長から、身体障害者及び高齢者の雇用状況について報告。
- ④ 輪島幸雄委員（社会）から、立地企業が望む技術者確保対策について
伊藤豪委員（自民）から、冬期講習会リストの提出について
質疑及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

農務農地開発委員会

○8月6日（火） 午後2時10分、第7委員会室
において開議、午後3時5分
散会
委員長 中川 義雄（自民）

一般議事

- ① 農務部長から、農作物の生育状況について報告。
- ② 農地開発部長から、昭和60年度道営工事第1・四半期の発注状況について報告。
- ③ 委員長から、道内における農業事情及び農業基盤整備事業の調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については委員長に一任することとした。
- ④ 平井進委員（自民）から、(1)農業用ダムの箇所数と管理状況及び改修実績と改修費用の内訳並びに今後の改修計画と点検指導等の実施、(2)農家経営に占める農業機械の割合と効率利用の取り組み方、営農機械効率組織化モデル事業の目標と内容及び事業結果の成果と評価並びに事業を全道に広める計画、(3)旭川競馬開催中における調教騎手不在事故に係る経過及び今後の対応策と指導方法、経費削減に伴う払戻窓口の減少による混乱に対する今後の対応等について
質疑及び意見があり、農地開発部長及び農務部長からそれぞれ答弁。
- ⑤ 大平秀雄委員（自民）から、試験場の体制と人員及びそ菜園芸担当人員、農業改良普及所の体制と人員及びそ菜担当人員について次回委員会に報告されたい旨の要望があった。

本日聴取した陳情

- 昭和61年度農業基盤整備事業に関する件

北海道土地改良事業団体連合会総務委員長

○9月3日（火） 午後1時21分、第7委員会室
において開議、午後2時18分
散会
委員長 中川 義雄（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきを実施した昭和61年度農業関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 農務部長及び農地開発部長から、昭和61年度の農業関係及び農業基盤整備関係の国費予算概算要求について説明の後、
操上良宏委員（自民）から、農業用水の流水占用料徴収に関し、実施された場合の試算額及び認識と対処方針について
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び農地開発部長からそれぞれ答弁。
- ④ 農務部長及び農地開発部長から、台風13号による農業被害について報告。
- ⑤ 農務部長から、前回の委員会において、大平秀雄委員（自民）から質疑のあった農業改良普及員の配置等について答弁の後、
大平秀雄委員（自民）から、雨よけハウスの助成廃止についての取り組み方、バラ等の栽培に關しての取り組み方、野菜の本州送りの対応について
操上良宏委員（自民）から、超過負債農家問題に対する見解と対策について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○9月24日（火） 午前10時24分、第7委員会室
において開議、午前11時散会
委員長 中川 義雄（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、昭和60年産畑作物価格等に関する要望意見案の発議についてはかり、異議

なく決定。

③ 委員長から、昭和60年産畑作物価格等に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

④ 農務部長及び農地開発部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

⑤ 平井進委員（自民）から、農産物の市場開放に関する行動計画の内容と国の対応及び道としての受けとめ方、農業諸団体の合併促進の進捗状況について

大野新生委員（道政）から、種芋（メークイン）に関し、供給の推進と丸型になる生理的な理由、玉葱の市場流通の考え方と対応について

質疑、意見及び要望があり、農務部長及び農地開発部長から答弁。

○10月28日（月） 午後4時3分、第7委員会室において開議、午後4時6分散会

委員長 中川 義雄（自民）

一般議事

① 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

② 委員長から、農業用水の流水占用料徴収に関する要望意見案の発議については、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時8分、第7委員会室において開議、午前10時25分散会

委員長 中川 義雄（自民）

一般議事

① 委員長から、昭和60年産畑作物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 委員長から、道外における農業事情等調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

③ 農務部長から、昭和60年産畑作物価格等について報告の後、

神本三也委員（社会）から、てん菜糠分取引推進費の課税上の取り扱い、大豆作付の増反指導結果と概算金の金利負担への指導及び62年度以降における大豆作付の考え方について

質疑があり、農務部長から答弁。

委員長から、てん菜糠分取引推進費の税制上の取り扱いについては、次回の委員会で報告されたい旨の発言があった。

建設委員会

○8月6日（火） 午後2時、第4委員会室において開議、午後2時3分散会
委員長 伊藤 弘（自民）

一般議事

① 委員長から、さきを実施した昭和61年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 委員長から、道内における建設事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○9月3日（火） 午後1時27分、第4委員会室において開議、午後1時43分散会

委員長 伊藤 弘（自民）

請願、陳情の審査

請願

第47号 道営住宅若竹団地3号棟に物置の設置を求める件（採択）

第58号 暖房料の値上げ撤回と利用者の立場に立った熱供給事業の確立に関する件（議決不要）

一般議事

① 土木部長及び住宅都市部長から、9月1日の台風13号による大雨災害の状況について報告。

② 土木部長から、流水占用料等占用制度の改

正による治水財源の充実について説明。

た。

○9月24日（火） 午前10時30分、第4委員会室
において開議、午前10時40分
散会

委員長 伊藤 弘（自民）

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定例会提出案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○10月28日（月） 午後4時5分、第4委員会室
において開議、午後4時20分
散会

委員長 伊藤 弘（自民）

付託案件の審査

- 議案第6号（北海道流域下水道条例の一部を改正する条例案）、議案第12号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）、議案第13号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案第17号（札幌川ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件）を順次議題とし、住宅都市部長及び土木部長から、それぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時15分、第4委員会室
において開議、午前10時18分
散会

委員長 伊藤 弘（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、道外における建設事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとし

水 産 委 員 会

○8月6日（火） 午後1時42分、第6委員会室
において開議、午後2時3分
散会

委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、昭和61年秋さけ来遊予報と親魚捕獲、採卵及び放流計画について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した北洋漁業の救済対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した昭和61年度水産関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○9月3日（火） 午後3時25分、第6委員会室
において開議、午後3時33分
散会

委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、昭和61年度水産関係国費予算の重点事項について説明。
- ② 委員長から、北洋漁業の救済対策に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、全国豊かな海づくり大会参加と道内水産事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、さきに実施した道内水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○9月24日（火） 午後2時7分、第6委員会室
において開議、午後2時13分
散会

委員長 高橋 康之（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、第3回定例会提出予定案件

について説明。

- ② 委員長から、さきに実施した北洋漁業救済対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○10月28日（月） 午後4時5分、第6委員会室において開議、午後4時10分散会
委員長 高橋 康之（自民）

付託案件の審査

- 議案第7号（北海道立水産孵化場条例の一部を改正する条例案）、議案第14号（沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案第15号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を順次議題とし、水産部長から説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時8分、第6委員会室において開議、午前10時12分散会
委員長 高橋 康之（自民）

一般議事

- 委員長から、道外水産事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

文教委員会

○8月6日（火） 午後1時50分、第10委員会室において開議、午後2時7分散会
委員長 佐々木利昭（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和61年度北

海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 委員長から、札幌市内における文教事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ③ 若狭靖委員（自民）から、北方領土に係る指導資料に関し、小中学校における指導の現状、指導資料の改訂の進捗状況、各学校における学習効果を高めるための道教委の考え方、小中学校の指導の充実に対する見解について質疑及び意見があり、教育長から答弁。

○9月3日（火） 午後1時22分、第10委員会室において開議、午後1時30分散会
委員長 佐々木利昭（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の文教事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長から、昭和60年度学校運営研修会の実施について報告の後、
神戸典臣委員（自民）から、本年度学校運営研修会の運営、取扱い等について発言。
- ③ 教育長から、台風13号暴風雨災害による被害状況について報告の後、
土屋良三委員（自民）から、国庫補助金の交付に係る査定について
質疑があり、教育長から答弁。

○9月24日（火） 午前10時16分、第10委員会室において開議、午前10時25分散会
委員長 佐々木利昭（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した札幌市内における文教事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○10月28日（月） 午後3時55分、第10委員会室

において開議、午後4時5分
散会
委員長 佐々木利昭（自民）

特別委員会

付託案件の審査

- ① 議案第8号（北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号及び第19号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月29日（火） 午前10時12分、第10委員会室
において開議、午前10時18分
散会
委員長 佐々木利昭（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道外における文教事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 教育長から、新教育計画基本構想（素案）について報告。

総合開発調査特別委員会

○8月6日（火） 午後3時13分、第1委員会室
において開議、午後3時21分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

- ① 開発調整部長から、新計画基本構想案及び今後の計画策定スケジュールについて説明。
- ② 委員長から、道内調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○9月24日（火） 午後1時26分、第1委員会室
において開議、午後1時52分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

- ① 開発調整部長から、改定「国土利用北海道計画」の策定について説明。
- ② 開発調整部長から、昭和61年度北海道開発関係予算概算要求の概要について報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した道外調査及び中央折衝の概要について報告。

○10月29日（火） 午前10時46分、第1委員会室
において開議、午前10時56分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

- ① 開発調整部長から、国土利用計画（全国計画）素案について報告。
- ② 委員長から、道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

石炭対策特別委員会

○9月3日（火） 午後2時27分、第11委員会室
において開議、午後2時42分
散会
委員長 水岡 薫（自民）

- ① 委員長から、国の新石炭政策に関し、理事会の協議結果を報告、9月18日協議会を開催することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、さきに実施した石炭鉱業の安定及び産炭地域振興に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、7月22日衆議院石炭対策特別委員の来道に際し、正副委員長外1名の委員から要請した旨報告。
- ④ 委員長から、7月23日の産炭地域6団体全体会議及び7月24日の北海道石炭対策連絡会議の中央折衝について正副委員長外6名の委員を派遣し、先の道議会の要請に併せて実施した旨報告。
- ⑤ 委員長から、道内石炭鉱業振興状況調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○10月29日（火） 午前10時53分、第11委員会室において開議、午前10時56分散会
委員長 水岡 薫（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した石炭鉱業振興状況に関する道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、石炭鉱業振興状況に関する道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○9月24日（火） 午後1時28分、第3委員会室において開議、午後1時34分散会
委員長 木本 山孝（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道内調査及び昭和61年度北方領土関係国費予算に関する中央折衝の概要について、それぞれ報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

- ③ 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の開催等について説明の後、委員長から、本件及び他府県に対する決議要請のため、委員を派遣することについてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○10月29日（火） 午前10時48分、第3委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 木本 由孝（自民）

- 領対本部長から、昭和60年度北方領土返還促進使節団の国連派遣について説明。

エネルギー問題調査特別委員会

○8月5日（月） 午前10時4分、第11委員会室において開議、午後5時29分散会
委員長 川口 常人（自民）

- ① 知事から、海外調査の概要について報告の後、
今津寛委員（自民）から、貯蔵工学センターの性格及び認識、アメリカにおける低レベル放射性廃棄物に関する住民投票、住民投票の効力、拒否権の性格、貯蔵工学センターと拒否権の関連、事実関係と報道記事との相違等
酒井芳秀委員（自民）から、海外視察に關しての記者会見の真意、海外での立地手続きと日本の現状、ハンフオードサイドにおける実験計画の樹立時期、貯蔵研究施設に關しての知事の認識等
久田恭弘委員（自民）から、高レベル放射性廃棄物の貯蔵年限、最終地層処分目標、マルチール貯蔵施設の概要、安全性に關しての知事の認識等について
質疑があり、知事から答弁。次いで、
中川義雄委員（自民）から、海外調査の目的、貯蔵研究施設と最終処分地との係わり合い、海外視察本報告の時期、動燃への回答時期等について
質疑があり、議事進行の都合により、午後零

時3分休憩、午後零時26分再開し、知事から休憩前における中川委員の質疑に対する答弁の後、

中川委員から、動燃への回答時期について委員長へ措置要求の後、委員長から、理事会の意見を聴取し対処する旨発言。

- ② 小野秀夫委員（道政）から、海外視察後の知事の考え方の変化の有無、貯蔵工学センターの立地箇所等

伊藤武一委員（公明）から、原子力発電所と廃棄物についての認識、海外における貯蔵処理処分施設設置にあたっての取り組み手法等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時52分休憩、午後4時17分再開。

- ③ 商工観光部長から、貯蔵工学センターにかかる立地環境調査についての科学技術庁及び動燃からの文書回答に関し報告の後、

小野秀夫委員（道政）から、立地環境調査の性格及び内容について

質疑があり、商工観光部長から答弁。

同委員から更に質問があり、答弁調整のため、議事進行の都合により、午後4時45分休憩、午後5時27分再開。商工観光部長から、答弁調整になお時間を要する旨発言の後、午後5時29分散会。

- 8月6日（火） 午前10時32分、第11委員会室において開議、午後零時28分散会

委員長 川口 常人（自民）

- 生活環境部長から、8月5日の小野秀夫委員（道政）の質疑に対する答弁の後、

小野秀夫委員（道政）から、環境影響評価の実施時期及び実施主体、環境影響評価の内容及び性格について

（関連して、中川義雄委員（自民）から、環境影響評価の内容及び実施時期、環境影響評価の調査の範囲及び時期等について）

質疑があり、商工観光部長及び生活環境部長から答弁。

（関連して、小野秀夫委員（道政）から、環境影響評価の実施手順について）

質疑があり、生活環境部長から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時41分休憩、午前11時51分再開。議事進行の都合により、午前11時52分休憩、午後零時27分再開し、直ちに散会。

- 8月14日（水） 午後4時23分、第11委員会室において開議、午後4時25分散会

委員長 川口 常人（自民）

- 生活環境部長から、8月6日の委員会における中川義雄委員（自民）の質疑に対する答弁調整のため、なお時間を要する旨発言の後、本日の議事をこの程度にとどめることを異議なく了承。

- 8月30日（金） 午後3時15分、第11委員会室において開議、午後10時7分散会

委員長 川口 常人（自民）

- ① 委員長から、今後の審議スケジュールについて配付の日程によることをはかり、異議なく決定。

- ② 科学技術庁等からの文書回答の件にかかわる8月14日の質疑の続行、

小野秀夫委員（道政）から、環境影響評価の実施に関し、特定開発事業実施時期の根拠、地域の概況把握の手法、調査の実施時期及び性格、条例に基づく一般的技術指針、条例に基づく調査項目と動燃の申し入れの調査項目の比較等について

質疑及び意見があり、商工観光部長及び生活環境部長から答弁。

- 8月31日（土） 午前10時8分、第11委員会室において開議、午後零時47分散会

委員長 川口 常人（自民）

- 貯蔵工学センター問題に関する質疑に入り、

小野秀夫委員（道政）から、立地環境調査の内容及び性格等について

中川義雄委員（自民）から、貯蔵工学センター計画の認識、道条例の調査項目と動燃の

調査項目の相違、政治家と行政の長の立場等について

酒井芳秀委員（自民）から、ハンフオードサイトプロジェクトの開始年度及び計画内容、ハンフオード及びネパタテストサイト施設の役割、幌延貯蔵工学センター立地の目的、核廃棄物政策法制定の目的、マルクールセンターでの感想、核廃棄物の処理貯蔵技術の早期確立等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び商工観光部長から答弁。

○9月2日（月） 午前10時、第10委員会室において開議、午後5時14分散会
委員長 川口 常人（自民）

① 委員長から、エネルギー問題調査特別委員会協議会の開催について、本委員会を一たん休憩し、第11委員会室において開催するためただちに移動願う旨発言。

② 委員会協議会開催のため、午前10時1分、休憩、午後5時14分再開。

③ 当委員会の要請により、科学技術庁原子力局長ほかが来道、正副委員長及び各理事の出席のもとに3日「貯蔵工学センター」について座談会を開催することを報告。

○9月12日（木） 午前10時43分、第11委員会室において開議、午後3時48分散会

委員長 川口 常人（自民）

○ 委員長から、理事者より海外調査報告書が提出された旨報告の後、報告書に関する質疑に入り、

久田恭弘委員（自民）から、マルクール貯蔵センターにおける被曝線量等の問題点、欧米における諸施設の立地環境及び人体への影響、放射能の減容効果等

酒井芳秀委員（自民）から、廃棄物の処理処分の定義及び認識、原子炉等規制法の解釈、ハンフオード陸地処分地と幌延との地層の比較、情報の公開、貯蔵工学センター設置目的等

神戸典臣委員（自民）から、ガラス固化体の安全性についての認識、フランスの原子力

行政に対する認識、カスタン委員会が原子力行政に占めている位置づけ及び構成、目的等

今津寛委員（自民）から、ワシントン州知事と北海道知事の取り組み姿勢の相違、海外調査に幌延の地図を持参しなかった理由、科学技術庁の方針の認識、貯蔵工学センター立地の地質上からの適否等

小野秀夫委員（道政）から、ガラス固化体の安全性についての認識、新計画基本構想案と貯蔵工学センター建設との関連等について質疑及び意見があり、知事から答弁。

○9月17日（火） 午後5時34分、第11委員会室において開議、午後5時35分散会

委員長 川口 常人（自民）

○ 委員長から、本日の会議は、議事の都合によりこの程度にとどめることをはかり、異議なく決定。

○9月18日（水） 午前11時20分、第11委員会室において開議、午前11時47分散会

委員長 川口 常人（自民）

① 委員長から、決議案第3号（貯蔵工学センターの立地環境調査の促進に関する決議）に関する提出者に対する質疑の取扱いについて、理事会において意見の一致をみなかった旨報告。

② 委員長から、決議案第3号に関し、各会派の発言を求め、

中川義雄委員（自民）から、決議案に対する各会派の賛否の態度が明確になった段階であり、質疑を省略するよう発言。

渋谷澄夫委員（社会）から、決議案に対する疑義についてただす必要があり質問通告に基づく質疑を行うよう発言。

小野秀夫委員（道政）から、決議案に対する各会派の賛否の態度が明確になった段階であり、質疑を省略するよう発言。

伊藤武一委員（公明）から、議会のルール上質疑は行われるべきであるが、質疑続行を強調するものではなく、委員会の決定に従う旨発言。

③ 決議案第3号に関する質疑を省略することについて採決し、挙手採決の結果、挙手多数で質疑省略を決定。

④ 決議案第3号に関する討論に入り、渋谷澄夫委員(社会)から反対討論、今津寛委員(自民)から賛成討論、伊藤武一委員(公明)から反対討論、小野秀夫委員(道政)から賛成討論があって討論終結。

次いで、決議案第3号の採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数をもって、原案のとおり可決と決定。

⑤ 小田原要四蔵委員(社会)から、会議規則第81条第1項の規定に基づき、少数意見を留保する旨委員長に措置要求。

⑥ 中川義雄委員(自民)から、決議案第3号に関する委員長報告に、知事が本委員会の審議中に動燃に対し貯蔵工学センターの立地環境調査に関する回答を行ったことに嚴重抗議を行う旨を挿入することの動議を提出。賛成があって動議成立、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数をもって、本動議を可決と決定。

⑦ 委員長から、本決議案の審査経過及び結果に関する委員長報告については、委員長に一任願いたい旨をはかり、異議なく決定。

○10月28日(月) 午後4時38分、第11委員会室において開議、午後4時41分散会

委員長 川口 常人(自民)

① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

② 委員長から、エネルギー問題実情調査に関する道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

国民体育大会推進特別委員会

○8月6日(火) 午後2時56分、第2委員会室において開議、午後3時17分散会

委員長 若狭 靖(自民)

① 国民体育大会事務局から、第44回国民体育大会開催準備状況等について説明。

② 教育庁社会教育部長から、第44回国民体育大会北海道競技力向上推進総合計画について説明。

③ 委員長から、国民体育大会推進状況に関する道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。

④ 委員長から、「わかとり国体」の開催状況等の調査の実施についてははかり、異議なく決定。

○9月24日(火) 午後1時25分、第2委員会室において開議、午後1時27分散会

委員長 若狭 靖(自民)

① 委員長から、さきに実施した他県における国体推進状況に関する道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 委員長から、道内調査の実施についてははかり、異議なく決定。実族時期等については、委員長に一任することとした。

予算特別委員会

○10月25日（金） 午後3時4分、第1委員会室
において開議、午後3時15分
散会
委員長 岩田 徳弥（自民）

正副委員長の互選

- ① 岩瀬正人臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、高橋庸委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって岩田徳弥委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、平井進委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって長岡寅雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後3時9分休憩、午後3時10分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は、総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は、商工観光部、労働部、土木部、住宅部市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

岩瀬 正人（自民）	高橋 一史（自民）
平井 進（自民）	伊藤 武一（公明）
大島 一郎（社会）	三沢 道男（社会）
小田原要四蔵（社会）	樫林 巖（社会）
綿貫 健輔（自民）	松崎 義雄（自民）
水岡 薫（自民）	石山 直行（自民）
高木 繁光（自民）	小野 秀夫（道政）
吉田 英治（社会）	

○第2分科委員（15人）

大内 良一（社会）	伊達 忠一（道政）
木戸浦隆一（自民）	操上 良宏（自民）
酒井 芳秀（自民）	村田 雄平（自民）
高橋 庸（社会）	工藤 啓二（公明）
青山 章（自民）	高橋 康之（自民）
青山 正男（自民）	長岡 寅雄（社会）
岩崎 守男（社会）	藤井 虎雄（社会）
中崎 昭一（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については、本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の申し出について、その都度委員会にはかり決定することとした。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること、及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○10月25日（金） 午後3時17分、第1委員会室
において開議、午後3時27分
散会
第1分科委員長
平井 進（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に平井進委員（自民）、分科副委員長に大島一郎委

員（社会）をそれぞれ選出。

- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、岩瀬正人委員（自民）、三沢道男委員（社会）、小野秀夫委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月26日（土） 午前10時42分、第1委員会室
において開議、午後2時37分
散会
第1分科委員長
平井 進（自民）

- ① 生活環境部所管に対する質疑に入り、
久田 恭弘委員（自民）から、
(1) 原子力環境監視センターの整備等に関し、60年度の整備計画の概要、建設整備にかかる国の交付金対象事業と交付金額の決定方法、監視業務の開始時期、原発広報に対する見解、センターの組織機構及び業務内容、技術職員の確保策、環境モニタリングステーション、ポスト、ポイントなどの位置の選定方法、環境資料の選定の考え方と資料の種類、温排水の影響調査の内容、バリアに対する見解、原子力発電所敷地内の放射性廃棄物の監視体制
(2) 原子力発電所の安全性確保に関し、建設協定の遵守状況、安全協定についての基本的考え方、安全協定締結の時期、締結に向けての基本的考え方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、公安委員会、企業局、民生部、衛生部、生活環境部、開発調整部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 総務部所管に対する質疑に入り、
岩瀬 正人委員（自民）から、
(1) 地方道路整備臨時交付金に関し、地方財政計画上の位置づけ、交付金の性格、交付

金についての自治省と建設省の意見の相違点、交付金申請時に単独事業を上乗せしている実態、市町村への配分額、道路整備に係る環境整備の効果と経済性、財政的に単独事業でできない市町村に対する道の対処等

- (2) 旭川運転免許試験場の移転に関し、用地買収費を計上した理由、移転時期、整備計画の予定、財源計画、予算を1定で計上しなかった理由、総規模と完成までの総予算、補償についての基本的考え方、現在地の取り扱いに対する道の考え、道有財産の管理有効活用に関する考え等
- (3) 行政財産の目的外使用に関し、本庁舎前庭で行われた反核集会に対する庁舎等管理規則上の許可と違反行為、状況及び管理責任者のとった措置と結果、幌延の工学センターの誘致に反対する団体が集会を企画した目的について承知の有無、庁舎管理規則の使用許可基準を明確化する考え、業務処理責任に対する措置、申請者及び関係者の違反行為に対する今後の措置、全道庁労働組合に対して回答した庁舎及び集会についての通知見直しの考え等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○10月28日（月） 午後1時14分、第1委員会室
において開議、午後2時43分
閉会
第1分科委員長
平井 進（自民）

- ① 総務部所管に対する質疑の続行、
久田 恭弘委員（自民）から、
北海道文書管理規程に基づく動燃に対する回答文書の取り扱いに関し、道の文書管理規程における決定書案の作成方法、合議または協議の扱い、文書管理規定に対する認識及び職員に対する研修方法、重要文書の取扱い及び重要か否かの判断、決定書の受け渡し方法、知事の動燃に対する回答文書の重要か否かについての部長の判断、決定書作成にあたっての事前の内部打合せの時期、方法及びメンバー、関係部長の意向を十分参酌して起し

たとする商工観光部長の答弁に対する部長の見解、関係部課長に合議していない理由及び協議又は事後の閲覧の必要性、持ち回り決裁の取り扱い等について

関連して、

小野 秀夫委員 (道政) から、

動燃に対する知事の回答文書に関し、決定に際して生活環境部長への合議の必要性について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

第 2 分 科 会

○10月25日 (金) 午後 3 時 16 分、第 2 委員会室
において開議、午後 3 時 27 分
散会

第 2 分科委員長

高橋 庸 (社会)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に高橋庸委員 (社会)、分科副委員長に村田雄平委員 (自民) をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法について協定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各 1 名計 4 名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、木戸浦隆一委員 (自民)、大内良一委員 (社会)、伊達忠一委員 (道政)、工藤啓二委員 (公明) をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月26日 (土) 午前 10 時 27 分、第 2 委員会室
において開議、午後 2 時 31 分
散会
第 2 分科委員長

- ① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

木戸浦 隆一委員 (自民) から、

耕地災害復旧費に関し、農地・農業用施設災害の発生時期と被害内容、補正予算額と被害状況との関係、補正対象外災害等についての取り組み方、復旧事業費限度額の算定方法の改定内容と新旧比較の試算、農業基盤整備事業の設計基準、農地・農業用施設災害に対する未然防止の取り組み方、小規模農用地整備事業に関する第二期 5 年計画の実績と実施要望並びに年度別の採択率及び来年度以降の対処方法と補助限度額、農業基盤整備事業の推進上に関する公共事業予算の推移、道営・団体営の各種事業の新規採択地区についての推移と事業の推進による影響、今後の新規採択地区の対処方法と基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

- ② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

高木 繁光委員 (自民) から、

動燃に対する回答に係る公文書の施行に關し、道の文書管理規程に対する認識、決定書作成の具体的方法、動燃に対する回答文書的重要性、関係者間の内部協議の状況と在り方等について

大橋 見議員 (共産) から、

企業誘致のための補助金に関し、旧工鉱業開発促進条例施行時と新条例施行時との実績対比、京セラ北見工場に係る補助予定額とその内容、京セラに係る国会等での問題に対する受けとめと補助金交付予定の有無及び対処のあり方、補助金対象の要件等について
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部及び農務部所管に対する質疑を終結。

○10月28日 (月) 午前 11 時、第 2 委員会室
において開議、午前 11 時 33 分閉
会

第 2 分科委員長

高橋 庸 (社会)

- ① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、

学校研修会の実施状況に関し、研修会参加教員の決定に係る校長権限、研修会の内容、講師の選定基準、不参加の理由、状況把握の必要性、明年度研修会の持ち方等について質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

○10月28日（月） 午後3時35分、第1委員会室において開議、午後3時47分閉会

委員長 岩田 徳弥（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 委員長から、議案第1号ないし第3号及び第9号ないし第11号は原案可決とすることについてははかり、異議なく決定。ついで平井進委員（自民）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、景気対策予算の実施及び文書事務の処理並びに庁舎管理について附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立し、これをはかり、異議なく決定。
- ③ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することについてははかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

企業会計決算特別委員会

○7月9日（火） 午後6時38分、第11委員会室において開議、午後6時48分散会

委員長 中崎 昭一（自民）

正副委員長の互選

- ① 遠藤常二臨時委員長（社会）から、委員長互選の方法についてははかり、高橋庸委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって中崎昭一委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、吉川貴盛委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって榎林巖委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後6時43分休憩、午後6時45分再開。
休憩中協議の結果、本委員会の運営にあたっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名計6名の理事を選びその協議により運営することをはかり、異議なく決定。理事には、吉川 貴盛 委員（自民）、村田 雄平委員（自民）、高橋庸委員（社会）、関根建二委員（社会）、伊達忠一委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員会の申し合わせ事項についてははかり、異議なく決定。

○申し合わせ事項

1. 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。
2. 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。
3. 委員の交代は、原則として認めないこと。
4. 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。
- ⑤ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

- ⑥ 本委員会の運営方法及び審査日程については、理事会において協議、決定することとした。

○7月12日（金） 午後9時29分、第1委員会室において開議、午後9時37分散会

委員長 中崎 昭一（自民）

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 報告第42号ないし第47号を一括議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から配付の資料により各事業会計決算の概要について、代表監査委員から各事業会計決算に対する審査意見について説明。
- ④ 決算審査のため必要な資料の要求についてはかり、配付の項目により要求することに決定。
- ⑤ 本委員会に付託されている報告第42号ないし第47号について閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 企業会計決算に係る現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ⑦ 書面審査会について、7月22日から26日まで、7月29日から8月2日まで、7日から10日まで、14日から17日まで、21日及び27日の20日間開催することに決定。
- ⑧ 書面審査会の運営について、(1)書面審査室は第2委員会室に設置する。(2)書面審査室の使用時間は午前10時から午後5時までとする。(3)書面審査の方法は、一般会計決算と同様とし、決算書に基づく関係部局からの説明聴取並びに証拠書類及び提出資料の閲覧等により行う。(4)書面審査室備えつけ資料の室外への持ち出しは禁止することとした。

○8月19日（月） 午前10時38分、第1委員会室において開議、午後零時33分散会

委員長 中崎 昭一（自民）

- ① 委員長から、7月12日の委員会決定に基づ

く資料の提出があった旨報告。

- ② 委員長から、さきを実施した企業会計決算に係わる現地調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なく了承。

- ③ 報告第43号（昭和59年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、
平井 進委員（自民）から、

(1) 昭和59年度道有林野事業会計の経営収支に関し、事業計画に対する実績、基本計画の進捗率、予算・決算の概要、欠損金が大幅に減少した理由、事業外収益の減少、事業費用・資産生産費において不用額が生じた理由、決算結果に対する認識と今後の取り組み

(2) 道有林野事業の経営改善に関し、これまでの経営改善の検討の経緯と成果、事業の効率化及び投資の効率化の進め方、路網開設のコストの低減と施業への影響、委託・請負方式の推進方策、民間資金の導入による道有林経営のメリット、組織機構の再編整備、過剰人員の配置換、資産貸付、他会計との費用負担のあり方に対する見解、収穫量の増大、木材需要の拡大等収入確保に対する取り組み、現行基本計画の達成見通し

(3) 道有林における森林施業に関し、道有林の使用達成のためのこれまでの対策及び新計画の策定に対する基本的考え方、本道の天然林の針葉樹・広葉樹別の資源の現状及び需給の実態、道有林の資源の状況と造成目標、広葉樹の供給減少要因に対する認識及び今後の広葉樹育成についての取り組み

(4) 道有林の育種事業に関し、造林計画に対する種子の生産計画と供給の実態、採種圃種子と母樹林種子の品質の違いと森林資源育成上の影響、需要に見合う採種計画樹立に対する考え方、広葉樹の育種の現状と対策、育種事業に対する認識と今後の取り組み方針

(5) 道有林における林業技術に関し、林業技術の振興に対する認識、林業技術の現状に対する評価と今後の対応策、一般民有林に対する技術普及に対する考え等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月20日(火) 午前10時9分、第1委員会室において開議、午前11時33分散会

委員長 中崎 昭一(自民)

○ 報告第45号(昭和59年度北海道電気事業会計決算に関する件)、報告第46号(昭和59年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件)及び報告第47号(昭和59年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件)を議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員(自民)から、

(1) 公営企業法に関し、道営電気事業及び工業用水道事業の存在理由、企業局の職員数、経営費用に対する人件費の比率及びその適否

(2) 電気事業に関し、道営で水力発電所を経営する理由、ポンテンオ発電所の周辺地域とのかかわり、道内における送電電力量に占める道営発電所発電量の割合及び地域振興への効果、道営電気事業の経営状況、59年度における営業収益の減収額、濁水による減収と今後の対応策、滝下発電所建設計画の経緯と進捗状況

(3) 工業用水道事業に関し、地方公営企業として実施する目的と道が実施する理由、他府県における事業主体の動向、工業用水道事業の経営状況、工業用水道料金の他府県との比較、地域別料金制を採用している理由及び一本化する考え、60年度に料金改定を実施した理由、苫小牧第2工業用水道事業の収支均衡に対する見直し、動力費等に不用額を生じた理由

(4) 工業団地開発事業に関し、企業局で行う必要性と理由、工業団地開発事業の減収の理由、58年度決算審査における議会の附帯意見に対する措置

(5) 企業局所管事業の経営改善に関し、民間委託に対する見解、道営企業の将来方向に対する基本認識等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終

結。

○ 8月28日(水) 午前10時36分、第1委員会室において開議、午後零時34分散会

委員長 中崎 昭一(自民)

○ 報告第42号(昭和59年度北海道病院事業会計決算に関する件)を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

平井 進委員(自民)から、

道立病院の経営に関し、企業会計適用に対する認識、公営企業の長所と特徴、道立病院の公共性に対する考え方、医師の定着状況、医師確保のための道外関係機関に対する要請内容、59年度の道立病院の収支状況、年間業務予定量の有無、給与費の増の内訳、59年度の職員増の内容及び調整方法、業務委託の実施状況と今後の考え方、医療機器等の購入に係る予定価格の設定及び購入方法、一般会計からの繰出基準、経営対策委員会の構成・開催状況、病院長・事務長会議の開催状況及び協議内容、部長・病院管理室長の現地における指導状況、道立病院の赤字の要因、効率的な看護体制及び病棟構成の必要性、地域医療体系における道立病院の役割りと整備方針、経営健全化計画樹立の目途、国立病院・療養所の再編計画の内容、道立松前・寿都病院の町への移管が遅れている理由及び今後の見直し、道立病院の経営健全化に対する決意等について

大橋 見議員(共産)から、

道立病院における医療用酸素の使用に関し、液化酸素の使用状況、購入単価と納入業者及び道外価格との対比、道外価格と格差がある理由、液化酸素と診療報酬との関係、適正価格で購入する努力の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○ 8月29日(木) 午前10時26分、第1委員会室において開議、午前11時47分散会

委員長 中崎 昭一(自民)

① 報告第44号(昭和59年度北海道北広島団地

開発事業会計決算に関する件)を議題とし、
住宅都市部所管に対する質疑に入り、
村田 雄平委員(自民)から、

- (1) 北広島団地開発事業に関し、昭和59年度事業計画に対する実績、営業収益について減額補正後収入増となった理由、営業外収益の収入減の理由、宅地造成事業費用の営業費用に不足額を生じた理由、営業外費用の不用額の内容、資本的収入の償還金において減額補正後更に減収となった理由、資本的支出の建設改良費において増額補正後不用額を生じた理由、営業外収益における資産貸付料及び使用料の内容と金額の算定根拠、資産を特定企業に貸付けている理由、貸付けにあたっての使用目的等の基準、予約販売の条件、経営収支の決算結果に対する認識と今後の取り組み
- (2) 宅地分譲促進対策に関し、宅地価格抑制策の検討結果と分譲促進方策、分割購入者の利息の取り扱い、前年度との比較における本年度の販売活動状況、本年度の分譲状況と今後の見通し、集合住宅用地の処分計画、道営住宅及び道職員公宅の建設見通し、公共・公益的施設の建設見通し、宅地分譲不振の要因及び解消策、宅地の一括譲渡、建築義務条件撤廃・緩和に対する考え方、道外居住者への販路拡大に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があつて住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する意見調整は、各派代表者会議において行うことに決定。

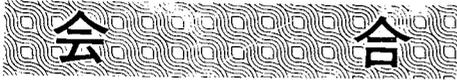
○8月30日(金) 午前10時17分、第1委員会室
において開議、午前10時19分
閉会

委員長 中崎 昭一(自民)

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告。
- ② 報告第42号ないし第47号を一括議題とし、委員長から、報告第45号及び第46号については認定議決、報告第42号ないし第44号及び第47号については意見を付し認定議決することをはかり、異議なく決定。付託案件に対する

委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ③ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあつた。



全国都道府県議会議長会

○7月18日(木) 都道府県会館において、第85回定例総会を開催。会長(岩手県議長)のあいさつに引き続き、内閣総理大臣(官房長官代読)並びに自治大臣のあいさつの後、議事に入り、役員会提出「国庫補助負担率一律引下げに反対する決議」を原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審査の経過と結果について報告があり、いずれも原案のとおり決定。ついで要望事項の実行運動方法について、全議事務総長の説明のとおり了承。ついで、役員選任について、役員選考委員会を設置の上、休憩、再開後、役員選考委員長(宮城県議長)報告のとおり、会長には沖縄県議長、副会長には北海道、秋田県、長野県、富山県、兵庫県、広島県、香川県及び大分県議長、理事には宮城県、茨城県、愛知県、京都府、岡山県、徳島県及び長崎県議長、監事には福島県、岐阜県及び島根県議長をそれぞれ選任し、引き続き、各委員会正副委員長を選任決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 国庫補助負担率一律引下げ反対について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 国と地方公共団体の協力関係について
- 4 新産業都市建設等並びに首都圏等整備に対する財政特別措置の延長について
- 5 交通事故防止対策の推進について
- 6 暴力団取締り対策の強化について
- 7 北方領土の早期返還について

社会文教委員会関係

- 1 老人福祉対策の充実強化について
- 2 障害者福祉対策の充実について
- 3 国立病院・療養所の存続等について
- 4 産業廃棄物対策について
- 5 国民健康保険財政の改善について
- 6 湖沼の環境保全対策の推進について
- 7 スパイクタイヤ対策について

- 8 私立学校に対する助成措置の拡充について
- 9 過大規模校の早期解消について
- 10 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の延長について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業の経営基盤の強化について
- 2 電源地域振興のための総合的施策の確立について
- 3 心身障害者・高齢者等に対する雇用対策の拡充強化について

建設運輸委員会関係

- 1 道路整備の促進について
- 2 住宅対策の推進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 景観対策の推進について
- 5 治水事業等の推進について
- 6 第4次全国総合開発計画の策定について
- 7 地域振興対策の推進について
- 8 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化等について
- 9 地方空港等の整備促進について
- 10 港湾整備事業の推進について

農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 畜産振興対策の強化について
- 3 蚕糸振興対策の推進について
- 4 バイテク農業の開発促進について
- 5 林業振興対策について
- 6 漁業振興対策について

10都道府県議会議長会(第140回)

○8月20日(火) 広島市において開催。地元広島県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、大阪府議長から前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議、決定した。次いで次回開催地を神奈川県に決定の後、全議事務局長から、行革審に対する全国議長会の意見について及び61年度概算要求基準の閣議決定された内容等についてそれぞれ説明の後、閉会した。

- 1 北方領土問題等の解決促進について

- (北海道提出)
- 2 国庫補助負担率の引き下げ措置反対について (東京都提出)
 - 3 国庫補助負担率の一律引き下げ反対について (神奈川県提出)
 - 4 悪質な商行為を規制し消費者を保護するための法制度の確立について (静岡県提出)
 - 5 第4次交通安全施設等整備事業について (愛知県提出)
 - 6 交通安全施設の整備充実について (京都府提出)
 - 7 大規模小売店の正月3日休業実施について (大阪府提出)
 - 8 水田利用再編対策について (兵庫県提出)
 - 9 国庫補助負担率引き下げによる地方負担転嫁の抑止について (福岡県提出)
 - 10 悪徳商法規制立法について (福岡県提出)
 - 11 松くい虫被害対策の充実強化について (広島県提出)

10都道府県議会議長会 (第141回)

○10月29日(火) 横浜市において開催。地元神奈川県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、まず、広島県議長から、前回議決事項の処理結果報告の後、次の事項について順次協議、決定した。次いで、次回開催地を北海道と決定の後、全議事務局調査第1部長から地方行革大綱に基づく行政改革の進捗状況等について説明の後、閉会した。

- 1 国民健康保険の財政措置について (北海道提出)
- 2 40人学級の早期実現について (東京都提出)
- 3 社会資本の整備充実について (静岡県提出)
- 4 廃棄物の適正処理・再資源化促進について (愛知県提出)
- 5 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の充実について (京都府提出)
- 6 航空機等の安全確保について

- (兵庫県提出)
- 7 第9次道路整備5か年計画の完全達成と道路予算の増額について (広島県提出)
 - 8 第8次石炭政策について (福岡県提出)
 - 9 私学助成の充実について (神奈川県提出)

北海道・東北6県議会議長会 (第69回)

○9月4日(水) 札幌市において開催。地元北海道議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、岩手県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議決定し、議決事項の処理の方法については各案件担当の議長に一任することとした。次いで、次回開催県を秋田県に決定の後、引き続き、全議事務局調査第1部長から、最近の中央情勢などについて説明の後、閉会した。

- 1 地方行財政対策の強化について
- 2 第4次交通安全施設等整備事業5箇年計画の策定について
- 3 ソ連漁船の寄港に関する国の責任ある対応について
- 4 北方領土問題等の解決促進について
- 5 国立病院・療養所の存続等について
- 6 国民健康保険の財政措置について
- 7 電源地域振興のための総合的施策の確立について
- 8 地熱資源開発促進について
- 9 スハイクタイヤ対策について
- 10 東北新幹線・北海道新幹線及び青函トンネルの建設促進について
- 11 高速自動車道の建設促進について
- 12 地方空港の整備と国際化について
- 13 第4次全国総合開発計画の策定について
- 14 新産業都市建設に係る国の財政上の特別措置適用年度の延長について
- 15 林業の振興について
- 16 沿岸漁業振興事業等の推進について

資 料

第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	10. 28	10. 31	北海道条例第31号
札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第32号
北海道流域下水道条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道立水産孵化場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号

8月のメモ

- 2日 ○**原水禁世界大会開幕** 原水爆禁止1985年世界大会が広島市の広島国際ホテル別館で開幕。主催者団体の大会実行委員会代表委員である総評、原水禁、中立労連、新産別、護憲連合の5団体代表が欠席、原水禁が招いた海外代表も事実上参加を見合わせるなど、運営などをめぐって深刻な亀裂が露呈した。
- 7日 ○**人事院5.74%のペアを勧告** 人事院は60年度の国家公務員一般職の給与について4月1日から平均5.74%引き上げるよう内閣と国会に勧告した。
- 日本人宇宙飛行士3人決まる** 米航空宇宙局に勤める土井隆雄さん(80)、女性の心臓外科医、内藤千秋さん(83)、北大工学部助教授の毛利衛さん(87)で、1人が63年1月に打ち上げられる米航空宇宙局のスペースシャトルに乗り込む。
- 滋賀県警前本部長が自殺** 山本昌二氏(59)が、大津市内の県警本部長公舎庭で焼身自殺。同県警で昨年11月、グリコ・森永事件で犯人とみられる男を取り逃がしており、心労が重なったためとみられる。
- 9日 ○**靖国懇が報告書を提出** 「閣僚の靖国神社参拝問題に関する懇談会」は1年余にわたる論議を集約した報告書を提出。「政教分離の憲法の規定に反することなく、何らかの形で公式参拝方式を検討すべきだ」とし、公式参拝を容認する見解を打ち出した。
- 11日 ○**志野焼の荒川豊蔵氏死去** 「古志野」を再興した陶芸家で人間国宝の荒川豊蔵氏が急性肺炎のため、岐阜県多治見市の病院で死去した。
- 12日 ○**日航ジャンボ機が墜落** 羽田発大阪行きの日航123便ジャンボ機(高浜雅己機長、乗客、乗員524人)が、機体の異状を羽田空港管制塔に連絡した後、群馬県・御巣鷹山中に墜落、炎上。520人が死亡した。単独機の飛行機事故としては史上最
- 大(12日)、子供客2人を含む女性4人が奇跡的に生存、救助された(13日)。
- 河本特命相が辞任** 河本敏夫特命相兼沖繩開発庁長官は、三光汽船が会社更生法を申請する事態になった責任をとり、中曽根首相に辞表を提出。
- 13日 ○**三光汽船が倒産** 三光汽船は神戸地裁尼崎支部に会社更生法の適用を申請、倒産した。民間信用調査機関によると、負債総額は約5,200億円(会社側発表4,972億円)。長期契約の用船料などを合わせた実質的な債務は1兆円に達し、戦後最大の倒産(13日)。
- フィリピンで大統領弾劾決議案** フィリピン国民議会の野党議員56人は、政府高官らによる巨額の在米隠し資産発覚に関連して、高官らの責任を問い、さらにマルコス大統領自身の弾劾を要求する決議案を連名で議会に提出した。
- 15日 ○**首相・閣僚が靖国神社を公式参拝** 終戦記念日に中曽根首相は戦後の首相として初めて靖国神社を公式参拝した。閣僚18人も首相に続いて公式参拝、野党や宗教団体は「憲法の政教分離を踏みにじるもの」と反発、中国や東南アジア諸国などからも非難の声がなかった。
- 60年度経済白書発表** 経済企画庁は、技術革新に支えられた「新しい成長の時代」に入りつつある、などとする60年度版経済白書を発表した。
- 17日 ○**墜落日航機、遺書も続々発見** 墜落した日航ジャンボ機の乗客3人が、墜落直前の機内で「しつかり生きて」「子供をよろしく」など家族への遺書や落ちていく様子のメモを書き残していたことが分かった。いずれも簡単ながら、家族への最後の思いをつづった内容だった。
- 18日 ○**「すいせい」打ち上げ** 文部省宇宙科学研究所が、国産二機目のハレーすい星探査機を鹿児島宇宙観測所から打ち上げ、「すいせい」と命名。
- 全国中学校選抜競技大会が開幕** 25日まで札幌など道内の9市1町で競技をめぐり、全国から集まった8,000人の選手が

日ごろ鍛えた技と力を競い合った。

- 21日 ○老人医療自己負担を来年6月引き上げ
70歳以上を対象とする老人保健制度の見直しを進めていた厚生省は、患者の一部自己負担額について、月に400円の外来は1,000円に、2か月を限度に1日300円の入院は限度期間を廃止したうえ500円に、来6年月からそれぞれ引き上げる方針を決めた。
- PL学園夏の甲子園を制す 第67回全国高校野球選手権大会決勝戦は、大阪代表のPL学園が山口代表の宇部商に4対3でサヨナラ勝ち、3度目の優勝。4番の清原は大会新記録の5本塁打を打った。
- インドシーク教徒穏健派総裁暗殺 シーク教徒の穏健派政党「アカリ・ダル」のコンゴワル総裁が、同教徒過激派とみられる4人組に撃たれ死亡した。同総裁は7月末、同州自治拡大問題でガンジー首相と合意したが、過激派は和解案を拒否していた。
- 22日 ○南北朝鮮故郷相互訪問で合意 第3回南北赤十字実務者接触の結果、9月20日から3泊4日の日程で、離散家族と芸術公演団の相互訪問を実現することで合意した。
- 航空機事故が相次ぐ 英国マンチエスター空港で、ギリシャのコルフ島行きボーイング737型機が離陸時に墜落、炎上。成田空港ではロサンゼルスからのノースウエスト航空のボーイング747型ジャンボ機が、着陸後主脚タイヤ16本中8本がパンク。大阪空港でも日航のソウル行きDC10型機の第一エンジンが火を噴いた。
- 24日 ○神戸ユニバーシアード開幕 「学生スポーツの祭典、ユニバーシアード神戸大会は、神戸総合運動公園陸上競技場で開会式を行い華やかに開幕した。史上最高106か国、3,237人の選手団が参加した。
- 中国軍機、韓国に不時着 中国軍のイリューン28改良型軽爆撃機が韓国全羅北道裡里市内に不時着。乗員3人のうち航空士と巻き添えの農民1人が死亡、操縦士が重傷を負った。

- 26日 ○米は2年連続の豊作 農林水産省が発表した8月15日現在の全国の水稲の作柄によると、作況指数は103で「やや良」。台風の影響が大きい限り豊作の見込み。
- 金融機関、第三土曜日も休みに 全国銀行協会連合会の週休二日制特別委員会が、来年8月から第三土曜日も休日とする実施案をまとめた。
- 台湾人元日本兵の補償請求を棄却 第二次大戦中、日本の軍人、軍属として戦地で死傷しながら、一切補償を受けられないでいる台湾人の戦傷者と戦死者の遺族が、国に補償を求めている訴訟の控訴審判決で東京高裁は、一審判決を支持し、原告側の控訴を棄却した。
- 27日 ○国鉄の累積赤字は12兆円 国鉄の59年度決算によると、赤字(純損失)は1兆6,500億円、同年度末の累積赤字は12兆2,700億円に。
- 南北朝鮮赤十字本会談開く 第9回本会談は12年ぶりに平壤で開かれ、北朝鮮側は離散家族の自由往来を中心とする6項目を提案、韓国側も赤十字代表部の相互設置を含む三つの草案を提出した。
- 28日 ○支庁の再編合理化を提言 支庁など道の出先機関のあり方を検討していた「新しい時代に向かう道政運営の簡素効率化調査会」の小委員会は、現在の14支庁の再編合理化を柱とする提言案をまとめた。
- 30日 ○全道労協新議長に森尾氏 全道労協の第44回定期大会最終日の30日、役員改選で自治労道本部委員長の森尾昇氏(57)が新議長に選ばれた。

9 月 の メ モ

- 2 日 ○田中控訴審主役不在で開始 ロッキード裁判丸紅ルートの元首相田中角栄被告＝一審懲役4年、追徴金5億円＝と、元首相秘書官榎本敏夫被告＝同懲役1年、執行猶予3年＝の控訴審第1回公判が東京高裁で始まった。脳こうそく療養中の田中と、脳内出血リハビリ中の榎本は出延せず、主役不在の第二ラウンド開始。
- 山口組の武器調達作戦がハワイで発覚 広域暴力団山口組系竹中組相談役竹中正(48)と暴力団組長ら3人は、ハワイで米警察のおとり捜査により、麻薬・銃器密輸・殺人謀議容疑で捕逮された。竹中らは一和会に報復するため、ロケット砲や自動小銃などを入手しようとしていた。
- 3 日 ○石炭2,000万トン体制見直し 村田通産省は、石炭鉱業審議会に国内炭年産2,000万トン体制の見直しにつながる11項目の検討を諮問した。
- 政治資金の総額史上2位 59年中に政党や政治団体が集めて自治省に報告した政治資金は総額約1,166億6,000万円。三大選挙があった一昨年を20%下回ったものの史上2位に。ニューリーダーでは、竹下登氏が初めて資金面でトップに立った。
- 4 日 ○日航に整備改善勧告 運輸省は日航に、事故と同型のジャンボ機の点検強化など整備体制を中心とした厳しい内容を盛り込んだ「安全運航確保のための業務改善勧告書」を手渡した。
- 神戸ユニバーシアード閉幕 世界106カ国の若人が力と技を競ったユニバーシアード神戸大会は、神戸総合運動公園陸上競技場での閉会式で12日間の学生スポーツの祭典を終えた。
- 臨教審年末に概要公表 臨時教育審議会が総会を開き、来春の基本答申に向け「教育の資質向上」など9項目を重点審議項目とすることを決め、国民各層の意

見を聞くため年末に「審議経過の概要(その3)」を公表することにした。

- 5 日 ○日の丸掲揚、君が代斉唱通知 文部省は公立、小、中、高校の入学・卒業式での日の丸掲揚や君が代斉唱について、「その適切な取り扱いについて徹底すること」という初中局長名の通知を各都道府県・指定都市教育長あてに出した。
- 6 日 ○ボーイング社、修理の手落ち認める 日航ジャンボ機の墜落事故についてボーイング社は、78年の大阪空港でのしりもち事故で同機を修理した際、隔壁の接ぎ合わせが一部不完全だったことを認めた。
- 国鉄再建監理委、新会社長期経営見通しをまとめる 国鉄再建監理委員会は、分割・民営移管後の新会社長期経営見通しをまとめた。北海道新会社は、現在300億円の赤字が62年度に6億円の黒字を出し、以後経営は年々上向きとなり、66年度は99億円の黒字になるという予測。
- 7 日 ○米国、通商法101条発動 レーガン米大統領は、日本が実施しているたばこの課税制度と、皮・皮革製品の輸入制限について、米通商法第301号(外国政府の貿易慣行への対処)を発動して、調査を始めると正式発表した。
- 9 日 ○海づくり全国大会開く 第5回全国豊かな海づくり大会は、サロマ湖に面する網走管内湧別町に皇太子ご夫妻をお迎えして開幕。道内外の招待客4,300人を含めて6,000人が参加、育てる漁業の推進を力強く宣言した。
- 10 日 ○百歳以上は1,740人 厚生省は今月末で満百歳以上になる人の「全国高齢者名簿」を発表。男359人、女1,381人の計1,740人。昨年より177人ふえ、15年連続の最高記録を更新した。日本一の長寿者は鹿児島島の泉重千代さんで120歳。
- 11 日 ○マンズワイン「証拠隠し」 マンズワイン社の有毒ワイン事件で、製品から検出した有毒物質が原料の輸入バルク(たる詰め)ワインから検出されず疑惑が深まっていたが、同社が問題のバルクワインをひそかに廃棄し、純国産ワインとすり

替えていたことがわかった。

- ロス疑惑の三浦を逮捕** 「ロス疑惑」を調べている警視庁捜査一課は、雑貨輸入販売業三浦和義88の前妻で、ロサンゼルス市で銃撃されて死んだ一美さん（当時28）が銃撃事件3か月前の56年8月、同市内のホテルで頭を殴られ負傷した事件について、三浦が知り合いの元女優矢沢美智子(仮)に殺害を頼んで実行させたとして、三浦と矢沢をそれぞれ殺人未遂の疑いで捕逮した。
- 社会党、「新宣言」を下部討議に** 社会党の中央委員会で、新しい綱領となる「新宣言」の中央執行委員会案について賛否両論が対立。この案を下部討議にかけ、全国の党員の意見を聞くことを決めた。
- 源氏鶴太氏死去** 「三等重役」などのサラリーマン小説で人気のあった作家、源氏鶴太氏が肺炎に脳血栓を併発して東京都新宿区の東京厚生年金病院で死去した。73歳。
- 13日 ○**「幌延」知事が拒否** 留萌管内幌延町が誘致している高レベル放射性廃棄物貯蔵施設問題で、横路知事は動然が道に協力要請していた立地環境調査について「道民のコンセンサスが得られていない」との理由で反対回答を行った。
- 16日 ○**石橋社会党委員長がソ連書記長と会談** 社会党の石橋委員長ら同党代表団が訪ソし、ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長らとクレムリンで会談。書記長は、核を先制使用せず、現在の軍事ブロックを解体することなどを内容とした全アジア安保会議構想の骨格を初めて明らかにした。
- 中国、若返り断行へ** 中国共産党の第12期党中央委第4回全体会議で、葉剣英氏ら老幹部の辞職願が受理された。
- 美幸線も廃止** 赤字ローカル線等1次廃止対象路線の中では最後まで運行が続いていた美幸線が廃止され、地元住民や全国から訪れた鉄道ファンに見守られながら、21年間の使命を終えた。
- 科学万博閉幕** 筑波研究学園都市で開か

れていた「科学万博一つくば'85」は、184日間の会期を終えて閉幕した。総入場者は目標の2,000万人を越す2,033万余人。

- 18日 ○**新防衛計画、GNP 1%を突破** 政府は国会会議と臨時閣議で「中期防衛力整備」（61～65年度）を正式決定した。総額は18兆4,000億円で、向こう5年間の国民総生産見通しの1.038%に当たり、「GNP 1%枠」を突破。
- 幌延調査促進決議案、可決** 道議会エネルギー問題調査特別委員会は、動燃事業団が幌延町に建設を計画している貯蔵工学センターの立地環境調査の「促進決議案」を採決し、賛成多数で可決した。
- 19日 ○**メキシコで大地震** メキシコ西海岸の沖約65キロの海底を震源地とするマグニチュード8.1の大地震が午前7時ごろ発生（19日）翌日もほぼ同地域が震源とみられるマグニチュード7.3の地震が起き、首都メキシコ市を中心に大被害が出た。
- 21日 ○**南北朝鮮で計65組が再会** 韓国と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の離散家族の相互訪問はソウルで30組、平壤で35組が家族や親せきと再会、芸術公演団も初の相互公演を行い帰国した。
- 千代の富士13回目の優勝** 横綱千代の富士は国技館での秋場所14日目で、13回目の優勝を決めた。12回優勝の双葉山を抜き、大鵬、北の湖、輪島に次ぐ四位の記録。
- 22日 ○**仏、情報機関の犯行認める** ファビウス仏首相は核実験抗議船「虹の戦士」号が爆破された事件について「仏国防省管轄下の対外安全総局が事実を隠していた」と述べ、総局が事件に関与していたことを初めて正式に認めた。
- 24日 ○**外相、国連行革を提唱** 安倍外相は国連通常総会の一般討論で演説、国連の無駄を省く行財政改革とそのための賢人会議の設置を提唱し、イラン・イラク戦争の平和的解決に向けて国連の仲介による間接対話方式の和平交渉を提案した。
- 中国指導部若返り** 中国共産第12期中央

中央委員会総会で胡啓立氏ら6氏が中央政治局員に新たに選ばれ、党指導部の大幅若返りが進んだ。

25日 ●第3回定例道議会開会

○更科源蔵氏死去 アイヌ文化研究者で郷土史家としても知られる詩人の更科源蔵氏が、脳コウソクのため札幌厚生病院で死去した。81歳。

26日 ○「道情報公開懇話会」が原則公開を提言
「道情報公開懇話会」（知事の私的諮問機関）は、道の情報公開制度基本計画への提言をまとめた。非公開情報の範囲を細かく限定し、「原則公開」を明確に打ち出している。

27日 ○サラリーマンの所得税最高 民間サラリーマンが59年中に納めた所得税は計6兆8,376億円と、減税の効果も薄く過去最高だったことが国税庁の調査でわかった。

○ソ連新首相にルイシコフ氏 チェホノフソ連首相が健康上の理由から辞任、後任にニコライ・ルイシコフ政治局員兼書記が選出された。

○白鳥大橋が着工 室蘭港をひとまたぎする「白鳥大橋」の着工式が27日午前、室蘭市内で行われた。全長1,380メートル、総工費420億円と推定されている。完成は60年代末の見込み。

29日 ○入江侍従長が急死 10月1日に侍従長を勇退することになっていた入江相政氏が虚血性心不全で急死した。半世紀にわたって天皇陛下の側近を務め、随筆家としても知られた。

30日 円高続く 5か国蔵相会議でのドル高是正合意を受け、急騰が続く東京外国為替市場の円相場は、前週末比4円30銭高の1ドル＝216円50銭で始まった。円が220円を突破したのは57年1月6日以来。

○宅地価格、高値横ばい 国土庁がまとめた7月1日現在の地価調査課果によると住宅地の平均価格は、昨年比全国2.0%、本道1.4%の上昇で、昨年の上昇率に比べ騰勢は一段と鈍化の一方、商業地の平均価格は3.5%上昇し、昨年（3.1%）を

上回った。

○都庁新宿に移転へ 東京都議会が都庁を新宿に移転する条例案を可決した。

10月のメモ

1日 ○イスラエルがチュニジアの PLO 本部爆撃 イスラエル空軍機がチュニジアの首都、チュニス南になるパレスチナ解放機構(PLO)の本部を空爆。民間人を含め約60人が死亡、100人以上が負傷した。

3日 ○ソ連書記長が訪仏、新軍縮案を公表 ソ連のゴルバチョフ共産党書記長が、就任後初の西側外遊先である仏入りし、ミッテラン仏大統領と会談(2日)。仏国民議会での演説で、先月レーガン米大統領への書簡で示した「核50%削減」「宇宙兵器禁止」などのソ連提案の骨子を公にした。

4日 ○GNPの推計基準改定 経済企画庁が50年を基準にしていた国民総生産(GNP)の計算基準を、55年基準に改めた結果、58年度までの名目GNPが上方修正された。このため、旧基準では1%を超えそうだった今年度の防衛費のGNP比は1%以内に納まることが確実にになった。

○東京で56年ぶりに震度5 関東を中心にした広域地震で、震源は茨城千葉県境。マグニチュードは推定6.2だった。東京の震度5は昭和4年の神奈川県西部地震以来。

5日 ○2階バスが転落 福井日本電気の社員を乗せた京福電鉄の大型観光バスが、山梨県北巨摩郡須玉町の中央自動車道から約30メートル下の県道に転落、乗客3人が死亡、61人が重軽傷。運転手は自殺した。

7日 ○教員に研修制適格審 臨教審第3部会が教育資質向上策の部会案をまとめた、新任教員に1年間指導員を付ける長期研修制度、研修を終えた教員の適格性をさらに審査する適格審査会をそれぞれ設けることを打ち出した。

○パレスチナゲリラが伊客船を乗っ取り 「パレスチナ解放戦線」を名乗るゲリラ

4人が伊客船アキレ・ラウロを乗っ取り511人を人質にした。犯人は人質を解放し、エジプトに投降したが、米人乗客1人が殺された。

8日 ○国際金融協議開く 国際通貨基金(IMF)・世界銀行総会を中心にした一連の国際金融協議がソウルで開かれ、①国際通貨制度の改革問題は来年4月の暫定委員会から本格的審議を始める、②途上国への援助を拡充するため「国際投資保証機構(MIGA)」を設立する、などが決まった。

10日 ○米下院、繊維貿易法案を可決 米国への繊維製品の輸入を制限する繊維貿易法案を賛成262、反対159で可決した。

11日 ○ノーベル平和賞は反核国際医師の会に 今年度のノーベル平和賞は日、米、ソなど世界41か国の医者約14万5,000人の集まりである「核戦争防止国際医師の会」に贈られることが決定。同会は医学的見地から、核戦争の恐ろしさ、核兵器の廃絶を訴えている。

12日 ○首相、ソ連書記長に親書 鹿取駐在ソ大使がシエワルナゼ・ソ連外相と会議、中曽根首相のゴルバチョフ共産党書記長あて親書を手渡した。日ソ間で平和条約締結交渉の再開を提案、ソ連側の全アジア安全保障会議構想には日米安保などわが国の安全保障政策に立脚して対処する、などが柱。

14日 ○秋田の水産高生を殺人で逮捕 9月下旬インド洋で漁業実習中の秋田県立船川水産高校の実習船から、3年生が行方不明になった事件で、秋田海上保安部は、同船に乗り組んでいた同級生2人を殺人容疑で捕逮した。

○釧路市長選、鰐淵氏大差で三選 中道・保守対革新の事実上の一騎打ちとなった釧路市長選挙は、現職で無所属の鰐淵俊之氏(48)が、新人で無所属の西田昭紘氏(49)を大差で破り、三選を果たした。

15日 ○内需拡大対策決定 経済対策閣僚会議は①住宅金融公庫の貸付枠を2万戸分追加②電力・ガス会社の設備投資を3年間で

- 1兆1,000億円追加、③地方自治体に公共事業追加を要請、などを柱とする内容拡大策を決定。
- 16日 ○**阪神21年ぶり優勝** プロ野球セントラルリーグの阪神タイガースが神宮球場でヤクルトを対戦、5対5で引き分け、リーグ分裂後3度目の優勝を決めた。
- 17日 ○**「甲山事件」は無罪** 兵庫県西宮市の精神薄弱施設「早山学園」で49年3月、園児が浄化槽から水死体で見つかった「甲山事件」の判決公判で、神戸地裁は、殺人罪に問われた保母の山田(旧姓、沢崎)悦子被告(64)に無罪(求刑、懲役13年)を言い渡した。被告が被害者を連れ出した、とする園児証言を「事実を反する証言をした疑いが強い」とし、検察側の主張を全面的に否定。
- 伊内閣が総辞職** イタリアのクラクシ政権は、客船アキレ・ウウロ乗っ取り事件の処理をめぐる紛糾、連立与党の共和党が政権離脱を決めたため、内閣が総辞職した。
- 23日 ○**青少年保護条例に最高裁判断** 最高裁大法廷は、18歳未満の少年少女らとのみだらな性行為を禁じた福岡県青少年保護育成条例について、「淫行」の意味を誘惑威迫など不当な手段や性的欲望を満足させるだけの性行為と限定して解釈したうえで「合憲」とする初判断を示した。
- 首相、国連総会で演説** 中曽根首相は国連創設40周年記念総会で演説し、日本外交の3本柱として①平和維持と軍縮推進②自由貿易推進と発展途上国への協力③文化、文明の発展への協力をあげるとともに、「新しい地球的倫理とそれを裏付ける制度」を生み出すよう各国首脳に呼びかけた。
- ワ条約機構首脳会議開く** ワルシャワ条約機構の政治諮問委員会(首脳会議)がブルガリアで開かれ(22日)、同会議で①米ソ兵力の相互凍結②米ソ双方は非核保有国に核兵器を配備しないなどの新軍縮提案を盛り込んだ政治宣言、最終コミュニケを採択して閉幕した。
- 24日 ○**米大統領、国連で紛争解決の提案演説** レーガン米大統領は、国連記念総会で演説、米ソ両国の影響力行使による地域紛争解決に向け、「三段階方式」による事態収拾案を提唱した。
- 永田元大映社長が死去** 元大映社長で「羅生門」などを製作、プロ野球「大毎」のオーナーでもあった永田雅一氏が肺炎のため死去。79歳。
- 先進6か国首脳会合開く** 米、英、西独、イタリア、カナダ、日本6か国の首脳はニューヨークで会合を開き、11月の米ソ首脳会談に臨むレーガン米大統領の立場を全面的に支持することなどで合意した。
- 25日 ○**道央の大動脈が開通** 道央自動車道の札幌(札幌市白石区米里)～札幌南(同区厚別町上野幌)間7.9キロが開通、これで岩見沢と登別東間131.1キロが、高速道路で結ばれた。
- 28日 ○**日本航空社長に山地進氏内定** 山下運輸相は日航機墜落事故の責任を取って辞意を表明している日本航空の高木養根社長の後任に前総務庁事務次官の山地進日航顧問を起用することを正式に決めた。
- 第3回定例道議会閉会**
- 30日 ○**貿易収支は過去最高** 大蔵省が発表した今年度上半期(4～9月)の貿易収支は、292億ドルの黒字で、過去最高の59年上半期を上回った。
- 31日 ○**リッカー旧経営陣5人逮捕** 昨年7月倒産した大手ミシンメーカー、リッカーの巨額粉飾決算事件で、東京地検特捜部は、同社社長の平木証三ら旧経営陣5人を証券取引法違反、商法違反の疑いで逮捕した。

北海道議会時報 昭和60年第3号
昭和61年1月10日発行（通巻第37巻第3号）

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第37巻第3号（昭和60年第3回定例会）